

取扱説明書

SANYO

カラーCCDカメラ 品番 VCC-9800 VCC-9600

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。



- 製造番号は、品質管理上、重要なものです。
- お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

はじめに

安全上のご注意.....	2
主な特長.....	4
メニュー設定をするには.....	5
メニュー設定の基本操作.....	6
設定メニューについて.....	7
■ 設定メニューのモード.....	7
■ 設定メニューの構成.....	8

設定のしかた

カメラの設定.....	9
A フリッカーレス機能を設定する.....	11
B アイリスを設定する.....	12
■ オートアイリス (自動).....	12
■ マニュアルアイリス (手動).....	12
C ホワイトバランスを設定する.....	13
■ オートホワイトバランス (ATW).....	13
■ ワンプッシュホワイトバランス (AWC).....	14
■ 固定ホワイトバランス (屋内/屋外/けい光灯).....	14
■ 手動ホワイトバランス.....	14
D 逆光下の映像を補正する.....	15
■ 多分割評価測光.....	15
■ 中央重点測光.....	15
■ マルチスポット測光 (マスク).....	16
E 電子シャッターを設定する.....	17
■ 高速シャッター (高速).....	17
■ 長時間露光シャッター (低速).....	17
F アパーチャー補正する.....	18
G AGCを設定する.....	18
H ガンマ補正レベルを設定する.....	19
I デイナイト機能を設定する.....	20
■ デイナイト機能を設定する (自動).....	20
■ カラー映像に固定する (カラー).....	21
■ 白黒映像に固定する (白黒).....	22
レンズの設定.....	23
A ピントの合わせ方を設定する.....	23
■ オートフォーカス (自動).....	23
■ マニュアルフォーカス (手動).....	24
B ズームの設定をする.....	25

パン/チルトの設定.....	26
A プリセットポジションを登録する.....	27
■ 監視位置を決める.....	27
■ カメラIDとタイトルを設定する.....	27
■ 設定パターンを画角ファイルとして登録する.....	29
■ シーケンスグループを指定する.....	31
■ プリセットポジションを削除する.....	31
■ プリセットポジションに移動させる.....	32
B プロポーションル機能を設定する.....	32
C プリセット移動中の画像を設定する.....	32
D カメラの方角を設定する.....	33
E チルトの制限角度を設定する.....	33
オートモードの設定.....	34
A プリセットポジションに連続移動する (シーケンス).....	35
B 開始点と終了点を記憶させて2点間を往復して監視する (オートパン).....	36
C 移動軌跡やコマンドを記録して監視する (ツアー).....	37
D 指定の監視状態に自動で復帰する (自動復帰).....	38

アラームの設定.....	39
A アラーム入力を設定する.....	40
B アラーム出力を設定する.....	41
C アラーム無効時間を設定する.....	42
D モーションセンサーを設定する.....	42
■ モーションセンサーエリアを設定する.....	42
■ 検知感度を設定する.....	43
E アラーム表示を設定する.....	44
プライバシーマスクの設定.....	45
パスワードの設定.....	46
■ パスワードロックを設定する.....	46
■ パスワードロックを解除する.....	46
■ パスワードを変更する.....	47

言語の設定.....	48
オプション設定.....	49
A 各種情報を表示する.....	50
■ モニターに表示する項目を選択する.....	50
■ システム情報を表示する.....	50
B オートフリップ機能を設定する.....	51
C 揺れを補正する (VCC-9800).....	51
D 自動追尾機能を設定する (VCC-9800).....	52
E 画像反転機能を設定する.....	52
F クリーニング機能を使う.....	52

その他

メニュー画面の展開図.....	53
仕様.....	58
アフターサービスについて.....	59

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■ 警告表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。その表示と意味は次のようになっています。

次の内容（表示・図記号）をよくご理解いただいたうえで本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害の可能性あります。

■ 図表示の例



△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。



電源プラグをコンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。



水ぬれ禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ キャビネットのお手入れとご注意

お手入れのしかた

電源プラグからコンセントを抜き、柔らかい布で汚れを軽くふき取る。

汚れがひどいときは…

水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる。

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。
変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■ 長時間使用しないときは

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 内部の掃除について

機器の内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。



警告

万一の場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのままご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。



■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない



お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ キャビネットをはずしたり、改造しない



分解禁止

内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

■ 雷が鳴り出したら使わない



接触禁止

電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。

■ めらさない



水ぬれ禁止



水場での使用禁止

風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
また、天井や壁などに対する防水処理を正しく行ってください。
漏電が起これば火災の原因となります。

■ めれた手で電源プラグをさわらない



接触禁止

感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけない



禁止

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないでください。

■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない



禁止

- 台所や湿度の高い部屋、結露しやすいところ、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。ほこりにより、ショートや発熱が起こります。
- 定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。

■ 電源コード接続時の注意



禁止

電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま、または電源コードを束ねたまま使用しないでください。発熱が起こります。

■ 内部に異物を入れない



禁止

金属類や燃えやすいものなど、異物を落とし込んだりしないでください。

■ 国外では使用しない



禁止

本機は日本国内のみで使用できます。外国では、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)



注意

以下の記載事項を守らないと火災や、感電、故障の原因となることがあります。

■ 設置場所の注意



- 湿気・ほこりの多い場所や、油煙・湯気が当たる場所に設置すると、火災、感電の原因となります。
- 磁気を持っているものの近くや、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに設置すると、事故、故障の原因となることがあります。
- 本機の総重量を考慮して、平面で耐久性がある天井や壁をお選びください。機器の落下などにより、けがの原因となることがあります。

使用環境：温度 $-10^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$
湿度 90% RH 以下
(結露なきこと)

■ コード類は正しく配線する



足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ 持ち運びの注意



電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードをはずしたことを確認のうえ、行ってください。

主な特長

■ 36倍光学ズーム搭載 (VCC-9800)

■ 30倍光学ズーム搭載 (VCC-9600)

■ 高速回転360度高精度メカニズム

■ チルト方向は-5度~185度

より鮮明な監視映像をお届けするために

- オートフォーカス、オートアイリス、ホワイトバランス、逆光／輪郭補正、電子シャッター、AGCなど、監視環境に応じてキメの細かい設定が可能です。
- デイナイト機能を搭載していますので、24時間の監視体制にも対応します。
- カメラのプリセットポジションは256登録 (VCC-9800) でき、さらに4パターンのグループ設定が可能です。
- 撮影条件などの設定データを収めた画角ファイルは、8パターン登録できます。

4タイプのオートモード動作

①シーケンスモード

登録されている複数のプリセットポジションに連続移動します。

②オートパンモード

監視映像の開始点と終了点を記憶させ、2点間の往復移動を繰り返します。

③ツアーモード

パン、チルト、ズームなどの連続操作の移動軌跡を記憶し、同じ動作を繰り返します。

④自動復帰モード

一定時間操作がないと、指定の監視状態に自動的に復帰させることができます。

■ 簡単装着、簡単取り外し

■ 自動追尾機能搭載 (VCC-9800)

■ 揺れ補正機能搭載 (VCC-9800)

アラーム検知機能

- 内蔵モーションセンサーと外部接続センサーの併用が可能です。
- アラーム信号の入出力条件も詳細に設定できますので、レコーダーや警告ブザーなど、外部機器との連携も万全です。

プライバシーや安全性への対応

- プライバシー保護のために、映像の特定部分にマスクを設定できます。
- カメラ操作に対しては、パスワードによる認証チェックを設定できます。

便利なオプション機能

- オートフリップ機能により、チルト角度が90度を超えても通常映像での監視が可能です。
VCC-9800では、揺れ補正や自動追尾などの最新機能も標準装備されました。
- 画像反転機能により、床置きタイプの監視にも対応します。
- カメラの水平回転部のクリーニング機能を搭載しています。

プロトコル：SSP, HSSP, Pelco-D, Pelco-C



ご使用に当たっては、別売のパワーボードユニット
<VA-84S (AC24V用) またはVA-80S (AC230V用)>
が必要です。

このユニットからは、リリースレバーを離すだけで簡単に
取り外しができます。

消耗品について

次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換してください。なお寿命時間はあくまでも交換の目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

また、使用環境、使用条件などによって異なります。

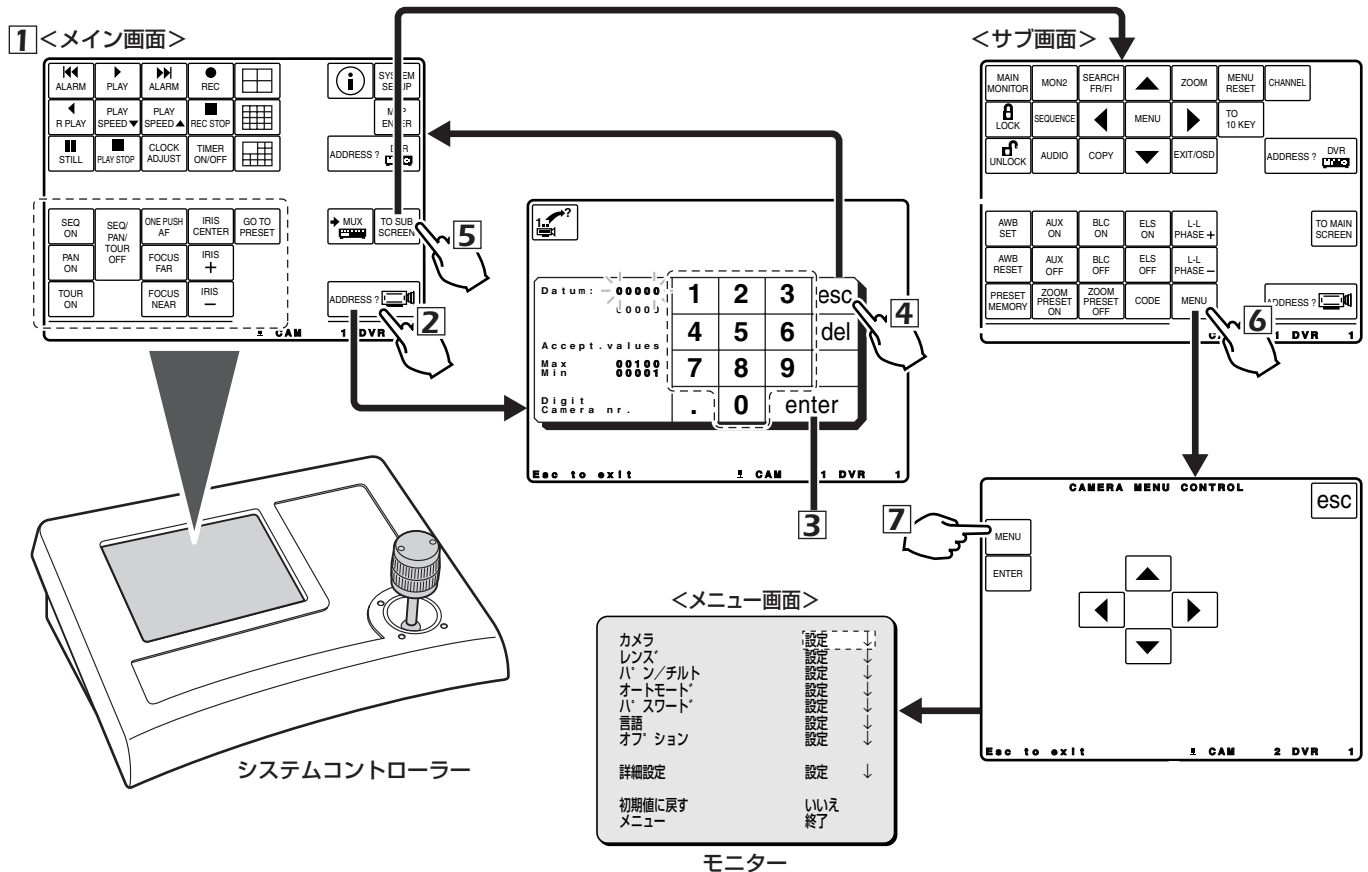
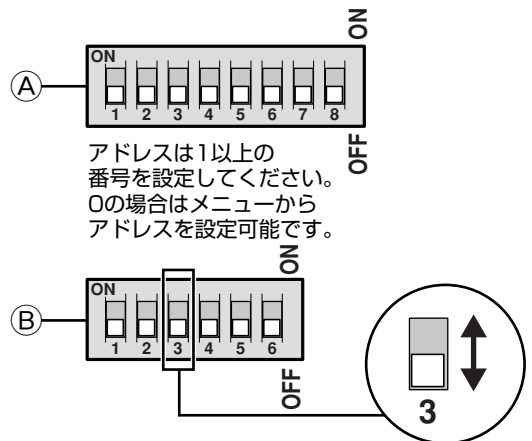
- レンズユニット：
約20,000時間 (モータ：1,200,000回動作)
- スリップリング：
約20,000時間 (1,200,000回転)
- モータ：
約33,000時間 (12,000,000回転)
- ファン：
約30,000時間

メニュー設定をするには

本機を設置してから、使用環境や監視目的に応じて撮影条件や必要な機能をメニュー設定します。モニターのメニュー画面を見ながら、システムコントローラー (VSP-9000) で操作してください。

(VAC-70、VSP-8500でも操作は可能です。)

- RS485制御方式で操作するには
制御スイッチ3 (B) を下側 (OFF) にしてください。
- 同軸重量制御方式で操作するには
制御スイッチ3 (B) を上側 (ON) にしてください。



1 すべての機器を接続して、電源を入れる

電源が入るとカメラは初期動作を開始し、モニターにアドレス情報などが表示されます。初期動作が終わると、ライブ映像が表示されます。

システムコントローラーのタッチパネルには、メイン画面が表示されます。

2 [ADDRESS?] ボタンを押す

アドレスの入力画面が表示されます。

3 テンキーボタンでカメラのアドレスを入力して、[enter] ボタンを押す

カメラのアドレス設定スイッチ (A) で設定したアドレス (カメラ番号) です (カメラの初期動作の際にモニターにも表示されます)。

4 [esc] ボタンを押す

メイン画面に戻ります。

5 [TO SUB SCREEN] を押す

サブ画面が表示されます。

6 サブ画面の[MENU] ボタンを押す

CAMERA MENU CONTROL画面になります。

7 CAMERA MENU CONTROL画面の[MENU] ボタンを押す

モニターにカメラのメニュー画面がオンスクリーンで表示されます。

メニュー設定の基本操作

メニュー設定では、システムコントローラーのジョイスティックレバー (①) とCAMERA MENU CONTROL画面の [ENTER] ボタン (②) を使って操作します。

● ジョイスティックレバー：

(以下、“レバー”と言います)

カーソルの移動や設定値の選択に使用します。

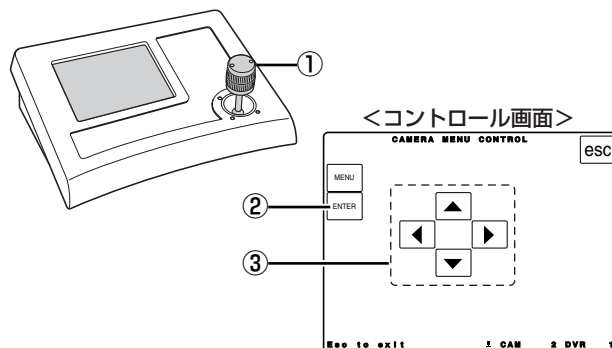
レバーの代わりに、CAMERA MENU CONTROL画面のコントロールボタン (③) を使っても操作できます。

● [ENTER] ボタン：

操作コマンドを確定するときに使用します。

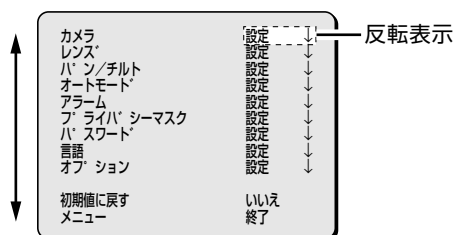
メモ

一部の設定メニューは、システムコントローラーのサブ画面でも操作できます。詳細は、システムコントローラーの取扱説明書をご参照ください。



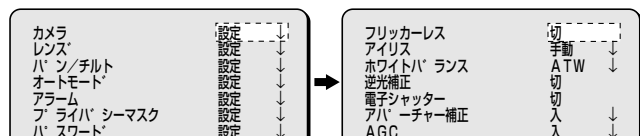
● メニューを選択するには

レバーを上下に動かすと、カーソル (反転表示) が上下に移動します。指定のメニューの行にカーソルを移動させてください。



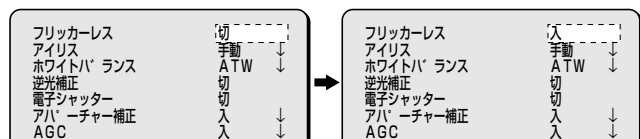
● 次画面に切り換えるには

↓マークが表示されているメニューは、次の詳細画面があります。メニューを選択して [ENTER] ボタンを押してください。



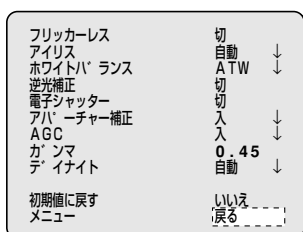
● 設定値を選択するには

レバーを左右に動かすと、設定値が順に切り換わります。



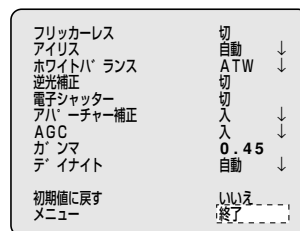
● 前画面に戻すには

カーソルを画面下の“メニュー”の行に移動させ、設定が“戻る”の状態ですべて [ENTER] ボタンを押してください。



● メニュー画面を閉じるには

カーソルを画面下の“メニュー”の行に移動させ、設定が“終了”の状態ですべて [ENTER] ボタンを押してください。



メモ

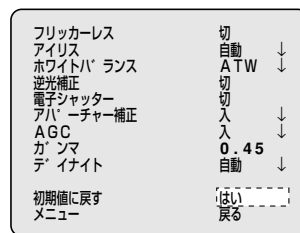
操作しない状態が3分以上続くと、自動的にメニュー画面を閉じます。

● メニュー画面を再表示するには

CAMERA MENU CONTROL画面の [MENU] ボタンを押してください。

● 画面の設定を初期値に戻すには

カーソルを“初期値に戻す”の行に移動させ、設定を“はい”に切り換えてから [ENTER] ボタンを押してください。



メモ

次の設定は初期値に戻りません。

- プライバシーマスク
- プリセットポジション
- 設定パターン
- カメラタイトル
- パスワード

※本取扱説明書では、レバーの縦方向の操作を↑、横方向の操作を←の記号で表記します。

設定メニューについて

■ 設定メニューのモード

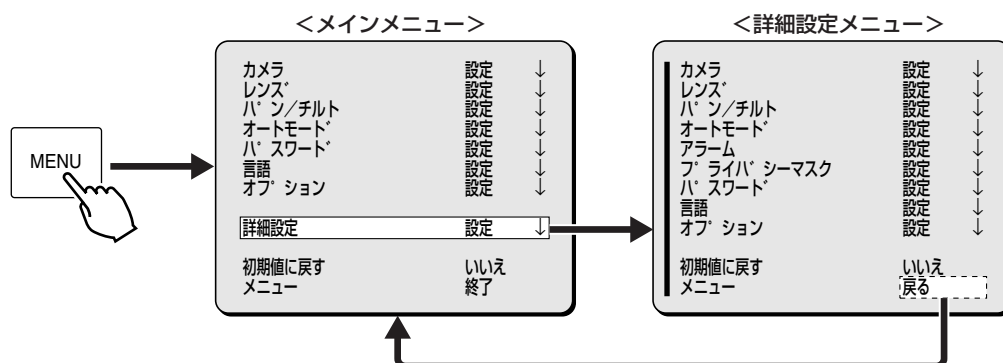
メニュー設定の操作では、次の2つのメニューモードを選択できます。

● メインメニュー

一般ユーザー用のメニューで、CAMERA MENU CONTROL画面の[MENU] ボタンを押すと表示されます。メインメニューでは、詳細設定メニューよりも設定できるメニューや内容が一部制限されます。

● 詳細設定メニュー

管理者用のメニューで、メインメニューで[詳細設定]を選択すると表示されます。[アラーム]や[プライバシーマスク]の設定メニューが追加されているほか、各メニュー画面でより詳細な設定が可能です。



- 詳細設定メニューでは、画面の左端に縦ラインが表示されます。
- メニューのモードにかかわらず、設定された内容は区別されことなく共有されます。ただし、パスワードは、メインメニュー用と詳細設定メニュー用にそれぞれ別に設定されます。

※本取扱説明書では、詳細設定メニューの設定内容に基づいて説明しています。

パスワード入力について

パスワードロックが設定されている場合は、[MENU] ボタンを押して設定メニューを表示する際にパスワード入力が必要です。次の手順でパスワードを入力してください。

1 ↔でカーソルの位置を移動させ、↓で数字を選択する

パスワード入力画面になります。



2 4桁のパスワードを入力したら、[ENTER]を押す

パスワードが正しく入力されると、メニュー画面が表示されます。

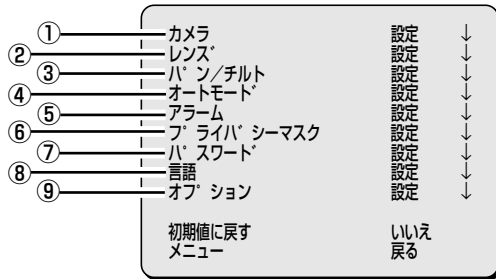


- パスワード入力を間違えると“NG”が表示され、カーソルが“戻る”に移動します。3回連続して間違えると、パスワード入力部が消えます。
- パスワードの工場出荷値は“1234”です。セキュリティ上、パスワードは定期的に変更してください。

■ 設定メニューの構成

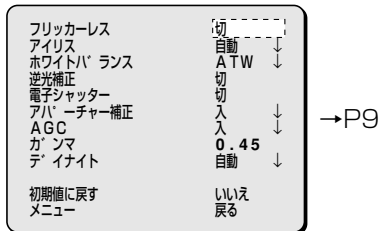
詳細設定メニューの構成は次のとおりです。

↓マークのあるメニューは、さらに次の詳細画面へと展開します。



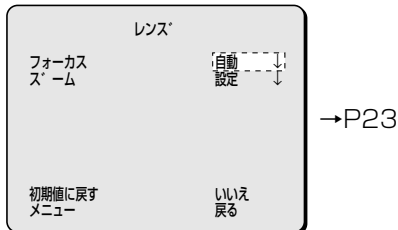
① カメラの設定

撮影に必要なレンズの絞り、ホワイトバランス、逆光補正、電子シャッターなどを設定します。



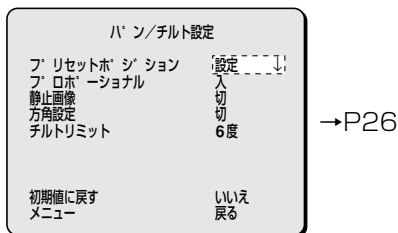
② レンズの設定

フォーカス、ズームを設定します。



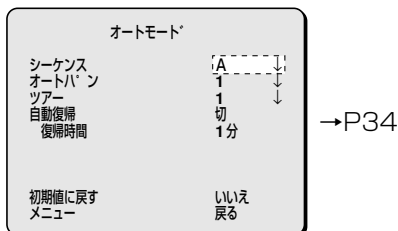
③ パン/チルトの設定

プリセットポジションなどを設定します。



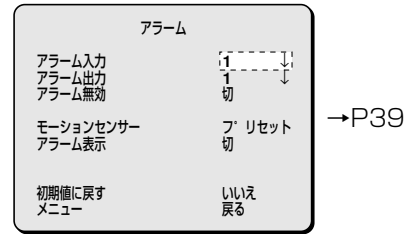
④ オートモードの設定

4タイプのオートモードを設定し、実行できます。



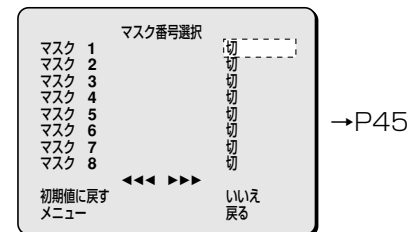
⑤ アラームの設定

アラームの入出力 (外部8入力、2出力)、モーションセンサーなどを設定します。



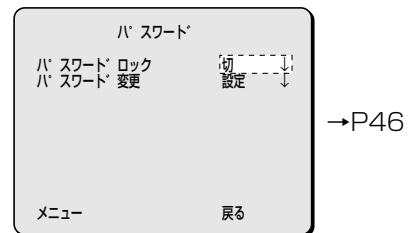
⑥ プライバシーマスクの設定

プライバシー保護のためのマスクを24ヶ所まで設定できます。



⑦ パスワードの設定

パスワードロックの設定/解除、パスワードの変更ができます。



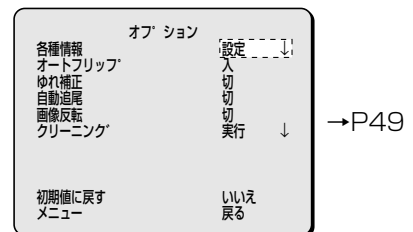
⑧ 言語の設定

メニューの表示言語 (日本語/英語) を選択できます。

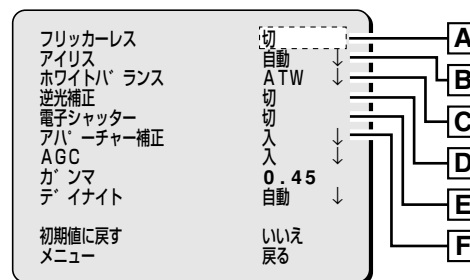
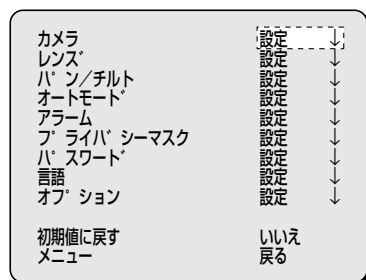


⑨ オプション設定

その他必要に応じて、オートフリップ、揺れ補正、自動追尾、画面反転などのオプション機能を設定します。



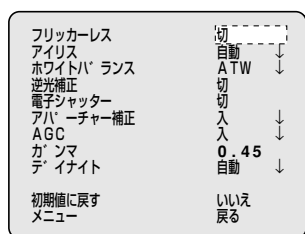
カメラの設定



A フリッカーレス機能を設定する

周波数や照明環境などに応じて、フリッカーレス機能を設定します。

- 入
- 切

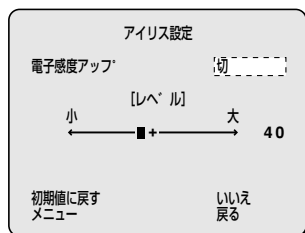


→P11

B アイリスを設定する

被写体の照度に応じてレンズの絞りを設定します。

- オートアイリス (自動)
- マニュアルアイリス (手動)

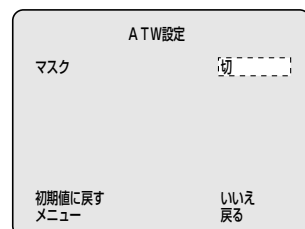


→P12

C ホワイトバランスを設定する

撮影環境に応じて色合いを調整します。

- オートホワイトバランス (ATW)
- ワンプッシュホワイトバランス (AWC)
- 固定ホワイトバランス (屋内/屋外/けい光灯)
- 手動ホワイトバランス (MWB)



→P13

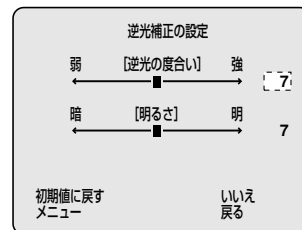


オートホワイトバランス (ATW) の設定は、プリセットポジション設定の「設定パターン」のメニューでおこなってください。

D 逆光下の映像を補正する

逆光でも映像が見やすいように、逆光補正機能を設定します。

- 多分割評価測光 (多分割)
- 中央重点測光 (中央重点)
- マルチスポット測光 (マスク)
- 切



→P15

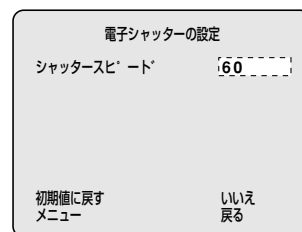


マルチスポット測光 (マスク) の設定は、プリセットポジション設定の「設定パターン」のメニューでおこなってください。(P29)

E 電子シャッターを設定する

用途に応じてシャッタースピードを設定します。

- 高速シャッター (高速)
- 長時間露光シャッター (低速)
- 切

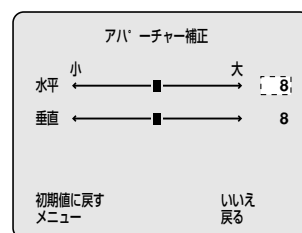


→P17

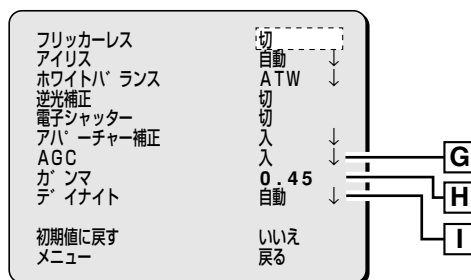
F アパーチャー補正する

被写体の輪郭を補正します。

- 入 ↓
- 切



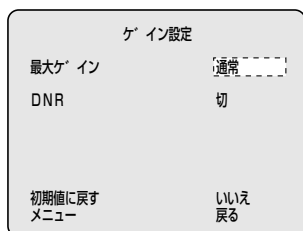
→P18



G AGCを設定する

AGC (Auto Gain Control) を4段階のレベルで設定します。

- 入 (4段階)
- 切

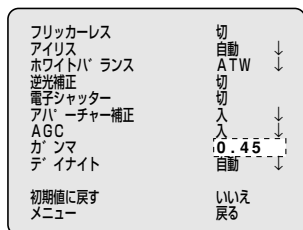


→P18

H ガンマ補正レベルを設定する

ガンマ補正レベルの設定により、コントラストや明るさを4段階で調整することができます。

- 0.45
- 1
- モード1
- モード2

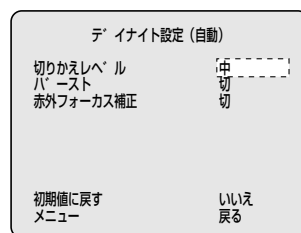


→P19

I デイナイト機能を設定する

昼夜の明るさの変化に応じて、カラー映像と白黒映像を自動的に切り換える機能です。

- デイナイト機能を設定する (自動)
- カラー映像に固定する (カラー)
- 白黒映像に固定する (白黒)



→P20

A フリッカーレス機能を設定する

周波数や照明環境などに応じて、フリッカーレス機能を設定します。

電波周波数が50Hzの地域（東日本）でCCDカメラを使用すると、蛍光灯照明下では画面のチラツキ（フリッカー現象）が発生し、カメラの映像に支障をきたします。（白熱灯やインバーター方式の蛍光灯は問題ありません。）

フリッカーレス機能を使用すると、画面のチラツキを抑えることができます。

フリッカーレス	切
アイリス	自動
ホワイトバランス	ATW
逆光補正	切
電子シャッター	切
アバソーチャー補正	入
AGC	入
ガンマ	0.45
デイナイト	自動
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

1 ↓で[フリッカーレス]を選び、↔で“入/切”を選択する

カメラが設置されている地域の周波数や照明環境などに応じて、フリッカーレス機能を設定してください。

選択項目：

- 入：フリッカーレス機能を設定する
- 切：フリッカーレス機能を設定しない



フリッカーレス機能を設定した場合は、電子シャッターを設定できません。

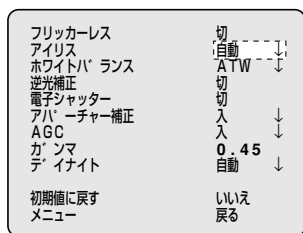
※調整が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

B アイリスを設定する

被写体の照度に応じてレンズの絞りを設定します。

絞りの設定のしかたには、次の2種類があります。

- オートアイリス（自動）
- マニュアルアイリス（手動）

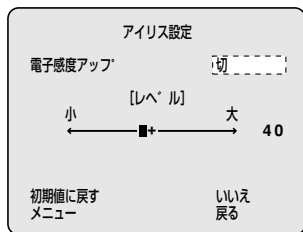


■オートアイリス（自動）

レンズの絞りを自動調整することで、照度差の激しい屋外や逆光下でも自然な映像を再現します。

- 1 ↓で[アイリス]を選び、↔で“自動↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

アイリス設定画面になります。



- 2 ↓で[電子感度アップ]を選び、↔で感度の倍率を選択する

選択項目：切、2倍、4倍、8倍、16倍、32倍

- 3 ↓で[レベル]を選び、↔で明るさのレベルを調整する

選択数値：0（暗い）～100（明るい）

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

- 電子感度アップは、周囲が暗くなると自動的に映像素子（CCD）の露光時間を長くします。したがって、動きのある被写体では残像やブレ、白点などが目立つ場合があります。
- 電子感度アップを設定すると、電子シャッターの機能は働きません。
- デイナイトの設定が“自動”のときは、電子感度アップは白黒映像の表示中にのみ働きます。

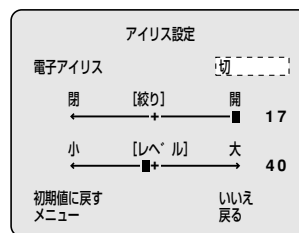
■マニュアルアイリス（手動）

レンズの絞りを手動で設定します。

電子アイリスを設定するとオートアイリス機能が使用できなくなるため、絞りの設定が必要です。

- 1 ↓で[アイリス]を選び、↔で“手動↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

アイリス設定画面になります。



- 2 ↓で[電子アイリス]を選び、↔で電子アイリスの“入/切”を選択する

電子アイリスを設定すると、AGC回路とシャッター速度の両方を制御して、露出が変わります。

- 3 ↓で[絞り]を選び、↔で絞りの大きさを調整する

数値を変更すると、レンズの絞りが連動して変わります。

選択数値：1（絞り閉＝暗い）～17（絞り開＝明るい）

- 4 ↓で[レベル]を選び、↔で明るさのレベルを調整する

選択数値：0（暗い）～100（明るい）

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。



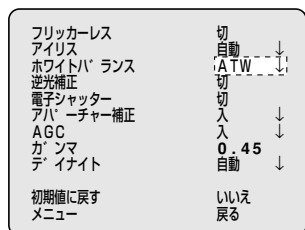
電子アイリスの設定について：

- 非常に明るい光源下で撮影する場合は、レンズに入る光量の調整ができなくなり、スミアなどの症状になります。このような場合は、照明などの角度を変えることでスミアを防ぐことができます。
- カメラ設置場所の照明が蛍光灯の場合は、被写体がちらつく場合があります。このような場合は、白熱灯に交換することでちらつきを防ぐことができます。
- 電子アイリスを設定すると、電子シャッターは設定できません。

C ホワイトバランスを設定する

撮影環境に応じて色合いを調整します。
調整のしかたには、次の4種類があります。

- オートホワイトバランス (ATW)
- ワンプッシュホワイトバランス (AWC)
- 固定ホワイトバランス (屋内/屋外/けい光灯)
- 手動ホワイトバランス (MWB)



■ オートホワイトバランス (ATW)

被写体の光源が変わっても適正な色合いが得られるように自動で調整します。

↓で「ホワイトバランス」を選び、↔で「ATW ↓」を選択してください。

通常のオートホワイトバランスの設定は「ATW」の選択によって終了しますが、被写体の中に非常に明るい光源がある場合は、光源にマスクを設定して補正してください。

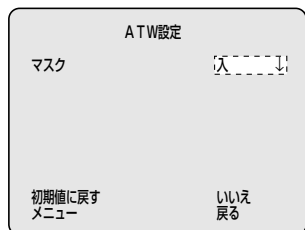
マスクの設定

特定の光源にマスクを設定する場合は、次の操作をおこなってください。

⚠ マスクの設定は、プリセットポジション設定の「設定パターン」のメニューでおこなってください。(P29)

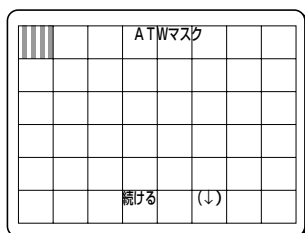
1 ↔で「ATW ↓」を選択した状態で、[ENTER] ボタンを押す

ATW設定画面になります。

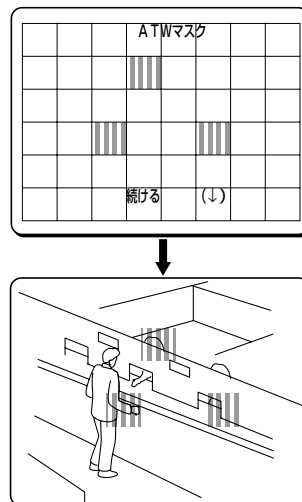


2 ↓で「マスク」を選び、↔で「入 ↓」を選択して [ENTER] ボタンを押す

ATWマスク画面になります。左上部にマスクパターンが表示されます。



3 ↓または↔でマスク設定したい光源部にマスクパターンを移動させて [ENTER] ボタンを押す
マスクパターンが設定されました。



同様の操作で、他の必要な箇所にもマスクパターンを設定してください。

<マスクパターンを削除するには>

削除したい箇所にマスクパターンを重ねて [ENTER] ボタンを押してください。

4 ↓でマスクパターンを最下段まで移動させ、レバーを下方に約3秒押し続ける

マスクの設定が終了します。

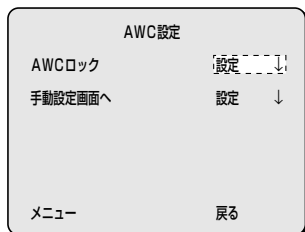
※設定が終わったら、[メニュー]で「戻る」または「終了」を選択してください。

■ ワンプッシュホワイトバランス (AWC)

レンズを白い被写体（白い壁や紙など）に向け、固定位置でホワイトバランスの調整をおこないます。

- 1 ↓で[ホワイトバランス]を選び、↔で“AWC ↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

AWC設定画面になります。



- 2 [AWCロック]の“設定 ↓”が反転表示の状態で、レンズを白い被写体に向けて[ENTER]ボタンを押す

“設定 ↓”の反転表示が一旦解除され、約2秒後に再び反転表示に戻ったらホワイトバランスの調整が完了です。

- 調整が不十分な場合は、“設定 ↓”が反転表示の状態で、もう一度[ENTER]ボタンを押してください。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

色合いを微調整したい場合

ワンプッシュホワイトバランスの調整後、さらに色合いを微調整する場合は[手動設定画面へ]（設定 ↓）を選び、[ENTER]ボタンを押してください。

手動ホワイトバランス設定画面が表示されます。

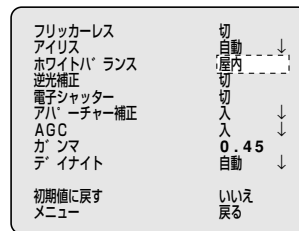
操作方法は、右コラムの「手動ホワイトバランス」をご覧ください。

- 【手動設定画面へ】を選択した場合は、“手動ホワイトバランス”と共通の設定になります。一方を調整すると、もう一方の設定も連動して変更されます。AWCの設定は、“手動ホワイトバランス”を調整しても変更されません。

■ 固定ホワイトバランス (屋内/屋外/けい光灯)

カメラの設置環境に応じて、ホワイトバランスの色温度を固定値に設定できます。

- 1 ↓で[ホワイトバランス]を選び、↔で設置環境（屋内/屋外/けい光灯）を選択する



選択項目：

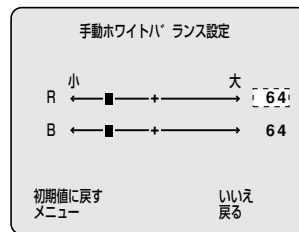
- 屋内：色温度3200K
- 屋外：色温度5600K
- けい光灯：色温度4200K

■ 手動ホワイトバランス

手動で、お好みの色合いにホワイトバランス調整ができます。

- 1 ↓で[ホワイトバランス]を選び、↔で“手動 ↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

手動ホワイトバランス設定画面になります。



- 2 ↓で色を選び、↔で色合いを調整する

選択項目：R（赤色）、B（青色）

選択数値：0～255（数字が大きいくほど濃くなる）

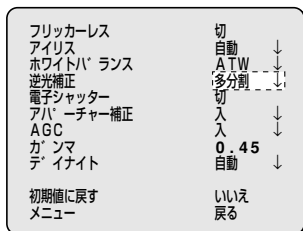
※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

D 逆光下の映像を補正する

逆光でも映像が見やすいように、逆光補正機能を設定します。

測光のしかたには、次の3種類があります。

- 多分割評価測光（多分割）
- 中央重点測光（中央重点）
- マルチスポット測光（マスク）



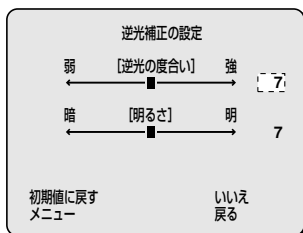
- 逆光補正機能を使用しないときは、[逆光補正]を“切”に設定してください。
- マルチスポット測光（マスク）の設定は、プリセットポジション設定の[設定パターン]のメニューでおこなってください。（P29）

■ 多分割評価測光

適正な映像になるように、画面全体を評価して補正します。

- 1 ↓で[逆光補正]を選び、↔で“多分割↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

逆光補正の設定画面になります。



- 2 ↓で[逆光の度合い]を選び、↔で逆光補正の度合いを調整する

選択数値：0～15（逆光補正大）

- 3 ↓で[明るさ]を選び、↔で明るさを調整する

逆光部の明るさの補正量を調整します。

選択数値：0～15（最大の明るさ）

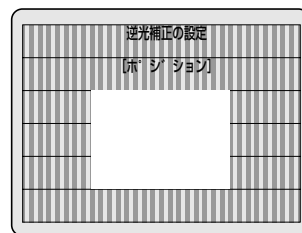
※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

■ 中央重点測光

指定した領域を重点的に測光し、適正な映像が得られるように補正します。

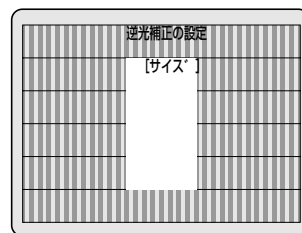
- 1 ↓で[逆光補正]を選び、↔で“中央重点↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

逆光補正のポジション設定画面になります。



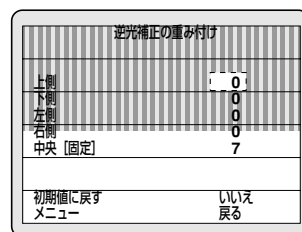
- 2 レバーで中央測光領域の位置を決めて、[ENTER]ボタンを押す

逆光補正のサイズ設定画面になります。



- 3 レバーで測光領域の大きさを決めて、[ENTER]ボタンを押す

逆光補正の重み付け画面になります。



- 4 ↓で領域を選び、↔で逆光補正の重み付けを数値で設定する

領域を選択すると、重み付けをする領域が画面に表示されます。

- 上側
- 下側
- 左側
- 右側
- 中央 [固定]（重み付けは“7”で固定）

選択数値：0～7（最大）

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

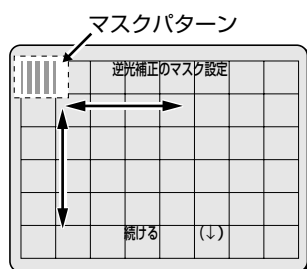
■ マルチスポット測光（マスク）

人物などが被写体のとき、背景の明るい部分にマスクを設定して補正できます。

❗ マルチスポット測光（マスク）の設定は、プリセットポジション設定の「設定パターン」のメニューでおこなってください。（P29）

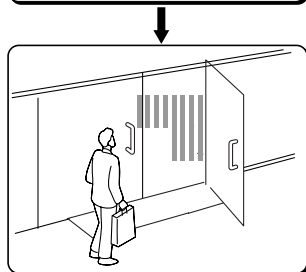
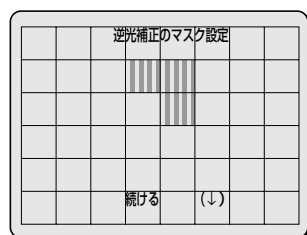
1 ↓で[逆光補正]を選び、↔で“マスク↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

逆光補正のマスク設定画面になります。左上部にマスクパターンが表示されます。



2 レバーでマスクパターンを測光したくない部分に移動させて[ENTER]ボタンを押す

マスクパターンが設定されました。



同様の操作で、他の必要な箇所にもマスクパターンを設定してください。

＜マスクパターンを削除するには＞

削除したい箇所にマスクパターンを重ねて[ENTER]ボタンを押してください。

3 ↓でマスクパターンを最下段まで移動させ、レバーを下方に約3秒押し続ける

マスクの設定が終了します。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

E 電子シャッターを設定する

用途に応じてシャッタースピードを設定します。
設定モードは、次の2種類です。

- 高速シャッター（高速）
- 長時間露光シャッター（低速）

フリッカーレス	切	↓
アイリス	自動	↓
ホワイトバランス	ATW	↓
逆光補正	切	↓
電子シャッター	高速	↓
アバースチャージ補正	入	↓
AGC	入	↓
ガンマ	0.45	↓
ディナイト	自動	↓
初期値に戻す	いいえ	
メニュー	戻る	

電子シャッターを使用しないときは、[電子シャッター]を“切”に設定してください。



次の設定のときは、電子シャッターの設定はできません。

- フリッカーレス機能が“入”に設定されているとき
- オートアイリス設定の電子感度が設定されているとき
- マニュアルアイリス設定の電子アイリスが“入”のとき

■高速シャッター（高速）

動きの速い被写体は、シャッタースピードを速くするほどブレのない鮮明な映像になります。

- 1 ↓で[電子シャッター]を選び、↔で“高速↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

電子シャッターの設定画面になります。

電子シャッターの設定	
シャッタースピード	60
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

- 2 ↔で[シャッタースピード]を調整する

選択項目：60、100、250、500、1000、2000、4000、10000（1/N秒）



電源周波数50Hzの地域などで蛍光灯照明下に本機を設置した場合は、チラツキを補正するために、シャッタースピードを“100（1/100秒）”に設定してください。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

■長時間露光シャッター（低速）

露光時間を長くすることによって感度を上げることができ、被写体が暗い場合でも明るく映ります。撮影環境に応じて設定してください。

初期設定は“1倍”です。

- 1 ↓で[電子シャッター]を選び、↔で“低速↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

電子シャッターの設定画面になります。

電子シャッターの設定	
シャッタースピード	1倍
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

- 2 ↔で[シャッタースピード]を調整する

選択項目：1倍、2倍、4倍、8倍、16倍、32倍

（フィールド蓄積時間の倍数で表示されています。数値が高いほど露光時間が長くなります。）

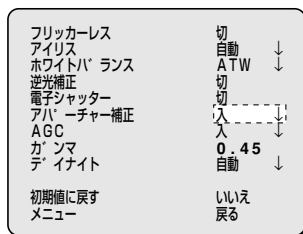


露光時間が長くなると、動きのある被写体に対して、残像やブレ、白点などが目立つ場合があります。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

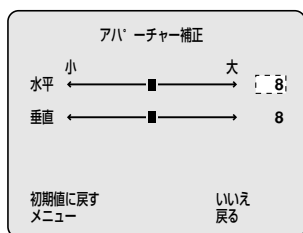
F アパーチャー補正する

被写体の輪郭を強調したいときに設定します。水平・垂直方向に調整できます。



- 1 ↓で[アパーチャー補正]を選び、↔で“入↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

アパーチャー補正画面になります。



選択項目：

- 切：輪郭を補正しない
- 入：輪郭を補正する

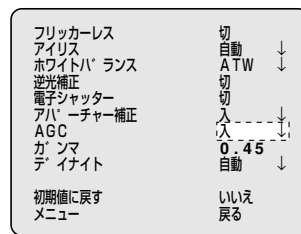
- 2 ↓で“水平”を選び、↔で水平方向の調整をする
選択数値：1～15（強調する）

- 3 ↓で“垂直”を選び、↔で垂直方向の調整をする
選択数値：1～15（強調しない）

※調整が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

G AGCを設定する

AGC (Auto Gain Control) を4段階のレベルで設定します。

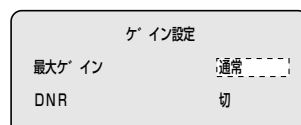


AGCを設定しないときは、[AGC]を“切”に設定してください。

AGCの設定

- 1 ↓で[AGC]を選び、↔で“入↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

ゲイン設定画面になります。



メモ AGCはカメラの映像信号増幅部のゲインを被写体の明るさに応じて自動調整し、信号出力を一定に保つ機能です。被写体が明るければゲインを下げ、暗ければゲインを上げます。

- 2 ↓で[最大ゲイン]を選び、↔でAGCレベルを選択する

選択項目：

- 通常：標準設定
- 中：暗い被写体用
- 高：さらに暗い被写体用
- 低：明るい被写体用

メモ

- デナイトの設定が“自動”のときは、“低”を選択できません。
- デナイトの設定モードによって、最大ゲイン値は異なります。
- ゲインを高くすると、暗い場所での感度がアップしますがノイズは増加します。

- 3 ↓で[DNR]を選び、↔でDNR（デジタルノイズリダクション）を選択する

選択項目：

- 入：DNRを適用する
（低照度時のノイズを低減します。）
- 切：DNRを適用しない



DNRは、ゲインが大きくなると動作します。動きのある被写体は、映像のブレや残像が発生することがあり、この場合は多少解像度が減少します。
カラーモードで、電子ズームが動作中は、DNRは働きません。

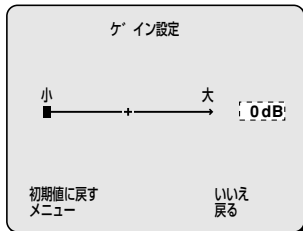
※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

AGCゲイン値の手動設定

AGCの設定が“切”の場合は、ゲイン値を手動設定できます。

- ↓で[AGC]を選び、↔で“切”を選択して[ENTER]ボタンを押す

ゲイン設定画面になります。



- ↔でゲイン値を選択する

選択数値：0～30dB（大きくなる）

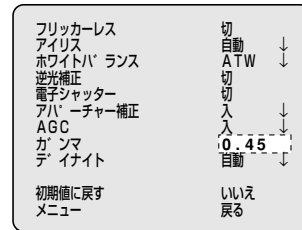


- デイナイトを“自動”に設定した場合は、AGCを“切”に設定できません。
- [アイリス]の電子感度アップが設定されている場合は、AGCを“切”に設定できません。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

H ガンマ補正レベルを設定する

ガンマ補正レベルの設定により、コントラストや明るさを4段階で調整できます。



- ↓で[ガンマ]を選び、↔でガンマ補正レベルを選択する

選択項目：

- 0.45：ガンマ=0.45
- 1：ガンマ=1
- モード1：暗い部分のコントラストを上げる
- モード2：暗い部分のコントラストをさらに上げる



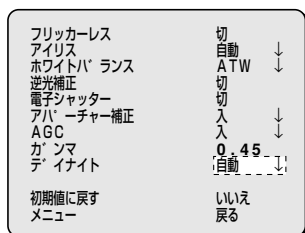
モード“1”、“2”を選択した場合は、被写体によっては画面が明るくなりすぎる場合があります。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

I デイナイト機能を設定する

昼夜の明るさの変化に応じて、カラー映像と白黒映像を自動的に切り換える機能です。この機能を使うと、昼間の明るいときはカラー映像、夜間の暗いときは白黒映像となります。

- デイナイト機能を設定する（自動）
- カラー映像に固定する（カラー）
- 白黒映像に固定する（白黒）



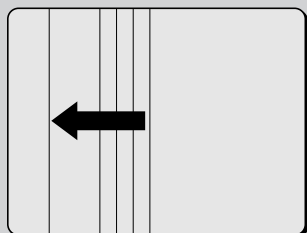
メモ

デナイト機能のモード切り換えは、システムコントローラーの[AUX]ボタンでも操作することができます。

モード	サブ画面	数値入力画面
自動	AUX ON	3
白黒	AUX ON	2
カラー	AUX ON	1



- 映像が切り換わる際に、本体内部から切り換え音が聞こえたり、図のように映像が歪むことがあります。故障ではありません。



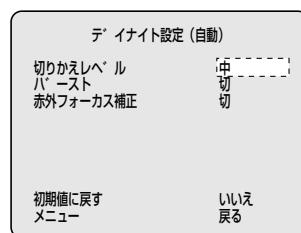
- 白黒映像時に電源を入れ直すとカラー映像に切り換わります。カラーと白黒映像とは、焦点位置が異なる場合があります。両方の映像で焦点位置が合うように調整してください。
- 白黒映像で赤外線照明を使用している場合は、照明が被写体に強く反射するとカラー映像に切り換わることがあります。映像が切り換わらないように赤外線照明を設置してください。

■ デイナイト機能を設定する（自動）

被写体照度の変化に応じて、自動的にカラー映像と白黒映像を切り換えます（昼間はカラー、夜間は白黒映像で撮影）。

1 ↓で[デナイト]を選び、↔で“自動↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

デナイト設定-自動画面になります。

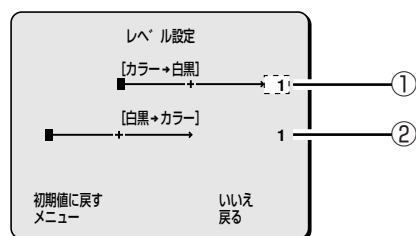


2 ↓で[切り換えレベル]を選び、↔でカラーと白黒を切り換える照度レベルを選択して[ENTER]ボタンを押す

選択項目：

- 中：切り換えの照度レベルを“低”と“高”の中間に設定する
- 高：切り換えの照度レベルを高めに設定する（白黒映像の時間が長くなります。）
- 詳細設定↓：切り換えの照度レベルを手動設定する“詳細設定↓”を選択した場合は、レベル設定画面になり、切り換えの照度レベルを手動で設定できます。
- 低：切り換えの照度レベルを低めに設定する（カラー映像の時間が長くなります。）

< “詳細設定” のレベル設定画面 >



① カラー→白黒

カラーから白黒に切り換えるときの照度設定

選択数値：1～7（数値が大きいほど暗いレベルで切り換わります。）

② 白黒→カラー

白黒からカラーに切り換えるときの照度設定

選択数値：1～7（数値が大きいほど明るいレベルで切り換わります。）

メモ

- レベル差に応じて、もう一方の設定も連動して動きます。
- レベル差を大きくすると、IR（赤外線）照明下でのハンチングを防止できます。

3 ↓で[バースト]を選び、↔で“入/切”を選択する

フレームスイッチャーなどの周辺機器に接続している場合は、カラーと白黒の映像切り換えの際にバースト（映像の乱れ）が発生することがあります。このような場合は、カラーバースト信号を挿入して補正します。

通常は“切”に設定してください。

選択項目：

- 入：バースト信号を挿入する
- 切：バースト信号を挿入しない

4 ↓で[赤外フォーカス補正]を選び、↔で“入/切”を選択する

通常は“切”に設定しますが、ピントがずれる場合は“入”に設定してください。

選択項目：

- 入：白黒映像時の近赤外波長（900nm）に対応して補正する
- 切：補正しない

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。



デイナイトを“自動”に設定した場合、他の機能は次のように動作します。

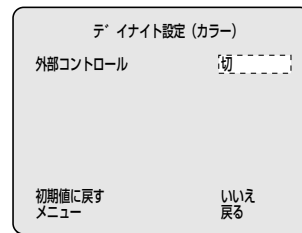
- [逆光補正]の多分割評価測光は、カラー映像のときに動作します。
- [アイリス]の電子感度アップは、白黒映像のときに動作します。
- AGCは“切”に設定できません。

■カラー映像に固定する（カラー）

明るさの変化に関係なくカラー映像で監視できます。

1 ↓で[デイナイト]を選び、↔で“カラー↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

デイナイト設定（カラー）画面になります。



2 ↓で[外部コントロール]を選び、↔で外部アラーム入力のチャンネルを選択する

[外部コントロール]を設定すると、外部アラーム入力によって自動的にカラー映像から白黒映像に切り換わります。

選択項目：

- 切：外部アラーム入力による映像の切り換えはしない
- 1～8：外部アラーム入力によって映像を切り換える（入力チャンネルを指定してください。）

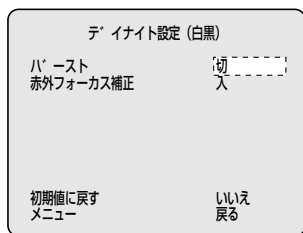
※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

■ 白黒映像に固定する（白黒）

明るさの変化に関係なく白黒映像で監視します。

1 ↓で[デイナイト]を選び、↔で“白黒↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

デイナイト設定（白黒）画面になります。



2 ↓で[バースト]を選び、↔で“入/切”を選択する

白黒信号にカラーバースト信号を挿入するかどうかの設定です。通常は“切”に設定してください。

選択項目：

- 入：バースト信号を挿入する
- 切：バースト信号を挿入しない

3 ↓で[赤外フォーカス補正]を選び、↔で“入/切”を選択する

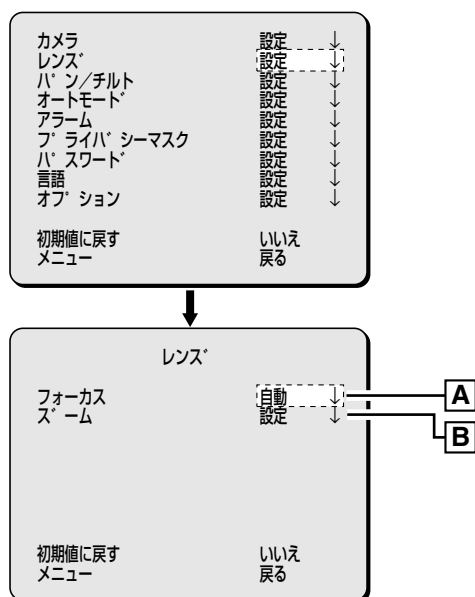
通常は“切”に設定しますが、ピン트가ずれる場合は“入”に設定してください。

選択項目：

- 入：白黒映像時の近赤外波長（900nm）に対応して補正する
- 切：補正しない

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

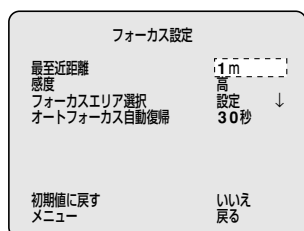
レンズの設定



A ピントの合わせ方を設定する

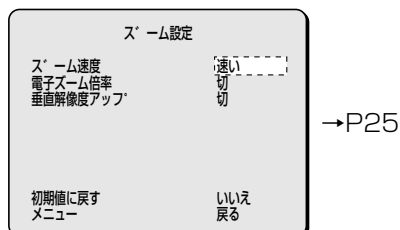
ピントの合わせ方を設定します。

- オートフォーカス(自動)
- マニュアルフォーカス(手動)



B ズームの設定をする

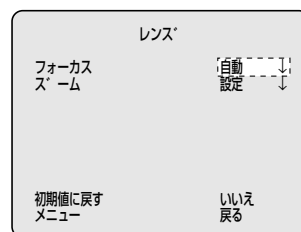
ズームスピードと電子ズームの設定ができます。



A ピントの合わせ方を設定する

ピントの合わせ方には、次の2種類があります。

- オートフォーカス(自動)
- マニュアルフォーカス(手動)



■オートフォーカス（自動）

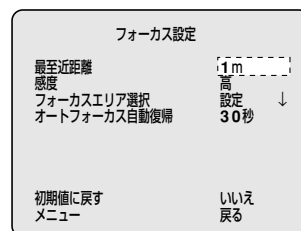
オートフォーカス機能を設定します。



オートフォーカスによる長時間の監視は、レンズユニットの寿命を短くします。長時間（24時間以上）にわたり監視する場合は、マニュアルフォーカスをお勧めします。

- 1** ↓で[フォーカス]を選び、↔で“自動↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

フォーカス設定画面になります。



- 2** ↓で[最至近距離]を選び、↔で被写体との距離を選択する

選擇項目：10cm、30cm、50cm、1m、3m、5m



被写体の距離が1m以下になると、ピントが合いにくくなる
ことがあります。

- 3** ↓で[感度]を選び、↔でフォーカス感度を選択する

選擇項目：

- 高：フォーカス感度が高い
- 低：フォーカス感度が低い



フォーカス感度を“高”に設定すると、被写体の動きに過敏に反応することがあります。そのような場合は“低”を選択してください。

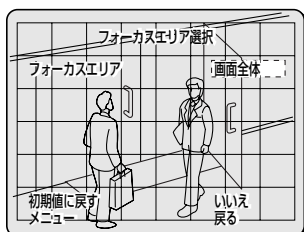
4 ↓で[フォーカスエリア選択] (設定↓)を選び、 [ENTER]ボタンを押す

フォーカスエリア選択画面になります。

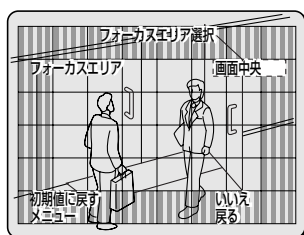
[フォーカスエリア] (オートフォーカスのピント領域) を選択してください。

選択項目：

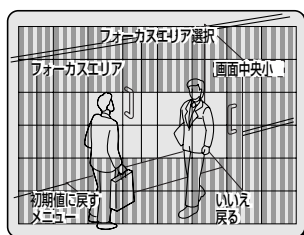
- 画面全体



- 画面中央 (初期値)



- 画面中央小



オートフォーカスの自動復帰機能

[レンズ] の [フォーカス] を “自動” に設定している場合、マニュアルフォーカス操作の終了後に、自動的にオートフォーカスに復帰させる機能です。

[オートフォーカス自動復帰] を選び、復帰させる時間を設定してください。

選択項目：

- 自動：フォーカス以外の操作をおこなうとオートフォーカスに復帰する
- 20秒、30秒、40秒、50秒、1分、2分、3分、4分、5分：設定した時間が経過するとオートフォーカスに復帰する

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

■ マニュアルフォーカス (手動)

被写体に対してピントの合う距離と速度を設定します。

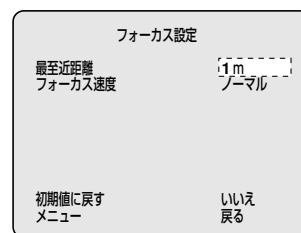


被写体との距離が1m以下になると、ピントが合いにくくなることがあります。

1

↓で[フォーカス]を選び、↔で“手動↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

フォーカス設定画面になります。



2

↓で[最至近距離]を選び、↔で被写体との距離を選択する

選択項目：10cm、30cm、50cm、1m、3m、5m

3

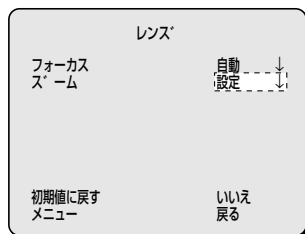
↓で[フォーカス速度]を選び、↔でピントを合わせる速度を選択する

選択項目：遅い、ノーマル、速い、最速

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

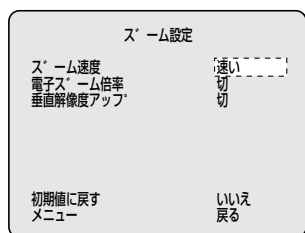
B ズームの設定をする

被写体に対して、ズームアップする速度と電子ズームの倍率などを設定します。



- 1 ↓で[ズーム] (設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

ズーム設定画面になります。



- 2 ↓で[ズーム速度]を選び、↔でズーム速度のレベルを選択する

選択項目：遅い、ノーマル、速い、最速

- 3 ↓で[電子ズーム倍率]を選び、↔で電子ズームの倍率を選択する

電子ズームは、光学ズームの最大倍率を超えた場合に動作します。

選択数値：切（電子ズームを使用しない）
2倍、4倍、8倍、16倍

- 4 ↓で[垂直解像度アップ]を選び、↔で“入/切”を選択する

選択項目：

- 入：電子ズーム時の垂直解像度を上げる
- 切：電子ズーム時の垂直解像度を上げない



“入”を選択した場合は、動きのある被写体は残像やブレが目立つようになります。

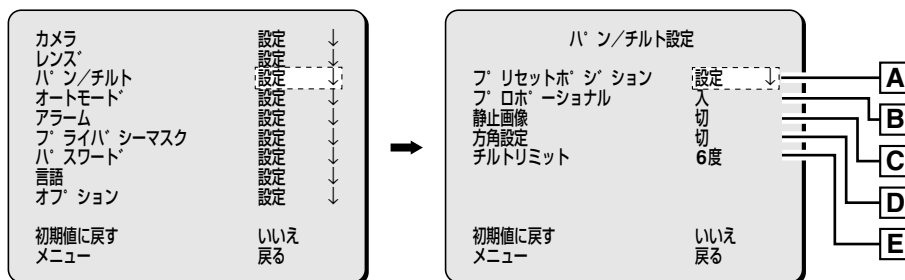
※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。



次の設定のときは、垂直解像度アップは自動的に“切”になります。

- オートアイリス設定（自動）の電子感度アップが設定されているとき
- 電子シャッターの設定が“低速（長時間露光シャッター）”のとき
- AGCのDNRの設定が“入”のとき

パン/チルトの設定



A プリセットポジションを登録する

カメラの向きや設定内容を、プリセットポジションとして登録できます。プリセットポジションにグループを設定すると、グループ別にシーケンスモードを設定できます。

プリセット番号選択			
1: A	11:-	21:-	31:-
2:-	12:-	22:-	32:-
3:-	13:-	23:-	33:-
4:-	14:-	24:-	34:-
5:-	15:-	25:-	35:-
6:-	16:-	26:-	36:-
7:-	17:-	27:-	37:-
8:-	18:-	28:-	38:-
9:-	19:-	29:-	39:-
10:-	20:-	30:-	40:-
メニュー			戻る

→P27

(プリセット番号選択画面)

プリセット番号を選択すると、プリセット設定画面になります。

プリセット番号 001		
ホ・シ・ジョン	設定	↓
タイトル	切	↓
設定パ・ターン	1	↓
ホールト	切	↓
シーケンス		↓
グループ	A	↓
静止時間	5秒	↓
プリセット移動	設定	↓
メニュー		戻る

→P27

(プリセット設定画面)

[設定パターン]を選択すると、設定用の設定パターン画面になります。

設定パ・ターン 1		
モーションセンサー設定	切	↓
アイリス	自動	↓
ホワイトバ・ランス	ATW	↓
逆光補正	切	↓
電子シャッター	切	↓
アバ・ンチャー補正	入	↓
AGC	入	↓
ガ・ンマ	0.45	↓
デ・イナイト	自動	↓
カメラ設定の値にする	いいえ	↓
メニュー		戻る

→P29

(設定パターン画面)

B プロポーショナル機能を設定する

ズーム倍率に応じてパン/チルトのマニュアル操作の速度を変えます。(TELEになるほどスピードが遅くなります。)

パン/チルト設定		
プリセットホ・シ・ジョン	設定	↓
プロ・ポ・ーショナル	入	↓
静止画像	切	↓
方角設定	切	↓
チルトリミット	6度	↓
初期値に戻す		いいえ
メニュー		戻る

→P32

C プリセット移動中の画像を設定する

プリセット移動中の映像を静止画にできます。

パン/チルト設定		
プリセットホ・シ・ジョン	設定	↓
プロ・ポ・ーショナル	入	↓
静止画像	切	↓
方角設定	切	↓
チルトリミット	6度	↓
初期値に戻す		いいえ
メニュー		戻る

→P32

D カメラの方角を設定する

カメラを任意の位置に向け、その位置を0度(北の方角)に設定することができます。

パン/チルト設定		
プリセットホ・シ・ジョン	設定	↓
プロ・ポ・ーショナル	入	↓
静止画像	切	↓
方角設定	設定	↓
チルトリミット	6度	↓
初期値に戻す		いいえ
メニュー		戻る

→P33

E チルトの制限角度を設定する

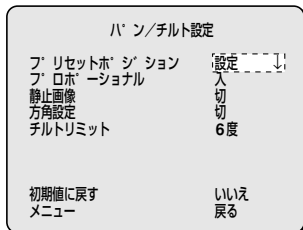
チルト操作の角度を制限できます。

パン/チルト設定		
プリセットホ・シ・ジョン	設定	↓
プロ・ポ・ーショナル	入	↓
静止画像	切	↓
方角設定	切	↓
チルトリミット	6度	↓
初期値に戻す		いいえ
メニュー		戻る

→P33

A プリセットポジションを登録する

監視位置をプリセットポジションとして登録しておく
と、プリセット番号を指定するだけでカメラの向きを
変えることができます。

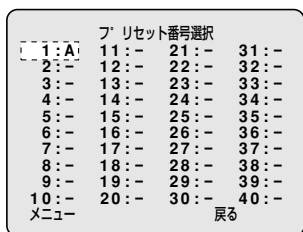


■ 監視位置を決める

監視位置を設定する場合は、オプションメニューのオートフ
リップの設定を“切”にしてください。“入”に設定されてい
ると、設定位置が多少ずれることがあります。ずれた場合は、
再設定が必要です。

- 1 ↓で[プリセットポジション](設定↓)を選び、
[ENTER]ボタンを押す

プリセット番号選択画面が表示されます。

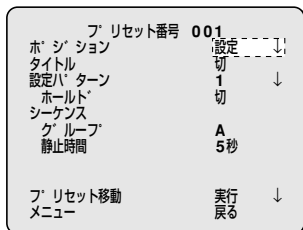


プリセット番号を選ぶには

- ↑または↓でカーソル(選択位置)を移動します。
- プリセット番号は1~255 (VCC-9800) または
1~127 (VCC-9600) まで設定できます。
- 1ページに表示されるプリセット番号は最大40個です。カ
ーソルを左右の端まで移動させ、さらに移動方向に向けて
レバーを押し続けると前後のページにスクロールします。
・ 右方向へ押す：次ページへ
・ 左方向へ押す：前ページへ

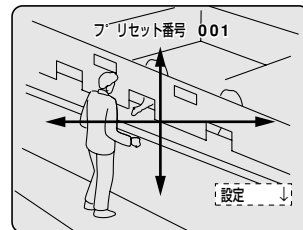
- 2 登録したいプリセット番号を選び、[ENTER]ボ
タンを押す

プリセット設定画面が表示されます。



- 3 ↓で[ポジション](設定↓)を選び、[ENTER]ボ
タンを押す

監視位置の設定画面になります。



- 4 レバーを動かして監視位置を決め、[ENTER]ボ
タンを押す

監視位置が設定され、プリセット設定画面に戻ります。

■ カメラIDとタイトルを設定する

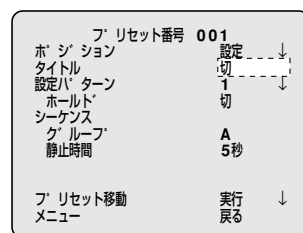
本機を複数台接続する場合は、識別用のカメラIDを設定し
てください。また、プリセットポジションにも、管理しやす
いように固有のタイトルを設定できます。

- 1 ↓で[プリセットポジション](設定↓)を選び、
[ENTER]ボタンを押す

プリセット番号選択画面が表示されます。

- 2 設定したいプリセット番号を選び、[ENTER]ボ
タンを押す

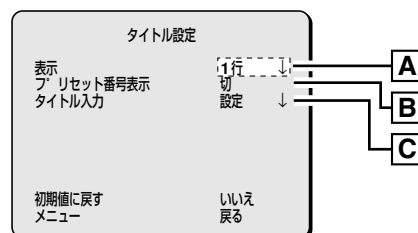
プリセット設定画面が表示されます。



- 3 ↓で[タイトル]を選び、↔で“入↓”を選択して
[ENTER]ボタンを押す

選択項目：

- 切：カメラIDとタイトルを設定しない
- 入：カメラIDとタイトルを設定する
(タイトル設定画面が表示されます)



- プリセット番号“1”はホームポジションとして設定さ
れ、削除できません。初期設定はプリセット番号“0”に
登録されており、本機をリセットするとプリセット番号
“1”はプリセット番号“0”の設定になります。
- プリセット番号“0”はユーザー設定できません。

A 表示形式と表示位置を選ぶ

- ① ↓で[表示]を選び、←で表示位置(1行/2行)を選択して[ENTER]ボタンを押す

選択項目:

- 1行: カメラIDとタイトルを同じ行に表示する
- 2行: カメラIDとタイトルを2行で表示する

- ② モニターを見ながら、レバーで表示位置を決め、[ENTER]ボタンを押す

タイトル設定画面に戻ります。

B プリセット番号を表示するかどうかを設定する

- ↓で[プリセット番号表示]を選び、←で“入/切”を選択する

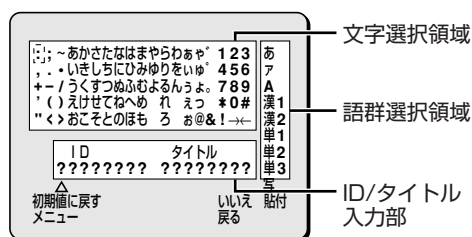
選択項目:

- 切: プリセット番号を表示しない
- 入: プリセット番号を表示する
(カメラID/タイトルの前に表示されます)

C カメラIDとタイトルを入力する

- ↓で[タイトル入力](設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

タイトル入力画面が表示されます。



<語群の選択>

カメラIDやタイトルには、ひらがな、カタカナ、アルファベット、漢字(文字限定)が使用できます。

←でカーソルを語群選択領域に移動し、↓で文字選択領域に表示する語群を選んでください。

選択項目:

- あ: ひらがな、数字、記号
- ア: カタカナ、数字、記号
- A: アルファベット、数字、記号
- 漢1: 漢字1字(ア～サ行)
- 漢2: 漢字1字(タ～ラ行)
- 単1: よく使うカタカナ単語
- 単2: よく使う漢字単語(2文字)
- 単3: よく使う漢字単語(3文字)

<コピー/貼り付けの操作>

語群選択領域の下に表示されている操作コマンドを使うと、コピー/貼り付けの操作が可能です。

- 写: カーソルを合わせて[ENTER]ボタンを押すと、現在タイトル入力画面に設定されているタイトルをコピーし、記憶します。
タイトルが記憶されている間は、写の左に*マークが表示されます。
- 貼付: カーソルを合わせて[ENTER]ボタンを押すと、現在表示されているタイトル入力画面に、記憶した内容を上書きします。

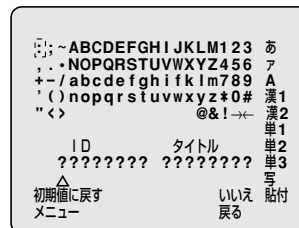
<入力例>

カメラIDを“CAM1”、タイトルを“FLOOR”にするには

- ① レバーで語群選択領域にカーソルを移動する

- ② ↓で“A”を選ぶ

文字選択領域にアルファベットが一覧表示されます。



- ③ レバーでID入力部の先頭にカーソルを移動する

- ④ レバーでカーソルを文字選択領域の“C”に移動させ、[ENTER]ボタンを押す

ID入力部の先頭に“C”が表示されます。

同じ手順で、“A”→“M”→“1”を入力します。

- ⑤ ID入力と同様に、レバーでカーソルをタイトル入力部の先頭に移動させ、続けてカーソルを文字選択領域の“F”に移動して、[ENTER]ボタンを押す

同じ手順で、“L”→“O”→“O”→“R”を入力します。

<設定したカメラID/タイトルを取り消すには>

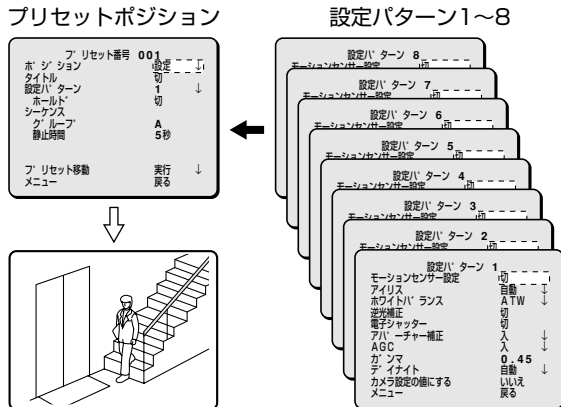
↓で[初期値に戻す]を選び、←で“はい”を選択して[ENTER]ボタンを押してください。プリセットポジション1の場合のみIDとタイトルの入力値がすべて“?”に戻ります。



- カメラIDはプリセット番号“1”でのみ設定可能です。設定されたIDは、プリセット番号“2”以降にも自動的に適用されます。
- カメラID/タイトルを画面に表示する場合は、オプション設定の[各種情報の表示]で表示項目の設定を“入”にしてください。
- IDとタイトルは、それぞれ8文字まで入力できます。

■ 設定パターンを登録する

監視する場所が明るい(あるいは暗い)など、異なった監視条件での撮影に対応できるように、撮影条件を設定パターンとして8パターンまで登録することができます。各プリセット番号に対して、適用する設定パターンを指定してください。

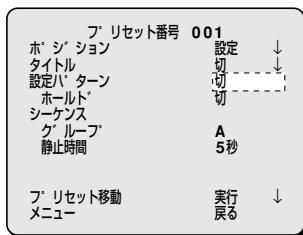


- 1 ↓で[プリセットポジション](設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

プリセット番号選択画面が表示されます。

- 2 設定したいプリセット番号を選び、[ENTER]ボタンを押す

プリセット設定画面が表示されます。



ホールド機能について

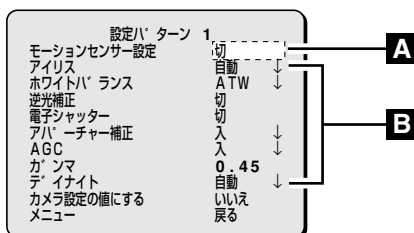
[ホールド]を“入”にすると、プリセットポジションでパン/チルト操作をしても設定パターンが維持されます。プリセット移動やオートモードの操作をすると、ホールド機能は解除されます。

- 3 ↓で[設定パターン]を選び、↔で設定パターンの番号を選択して[ENTER]ボタンを押す

選択項目：

- 切：設定しない
- 1～8：設定する

(設定パターン画面が表示されます)



A モーションセンサーを設定する

プリセットポジションに対してカメラの内蔵モーションセンサーが機能しますので、侵入者などの被写体の動きを検知することができます。

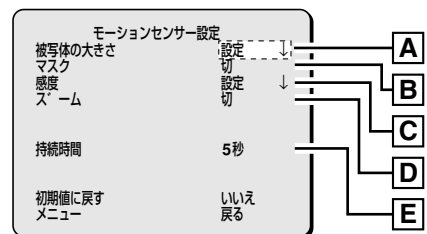
↓で[モーションセンサー設定]を選び、↔で“入↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

選択項目：

- 切：モーションセンサーを設定しない
- 入：モーションセンサーを設定する(モーションセンサー設定画面が表示されます)



モーションセンサーを設定する場合は、[アラーム]の[モーションセンサー]設定を“プリセット”にしてください。“プリセット”以外に設定されていると“---”が表示され、設定できません。

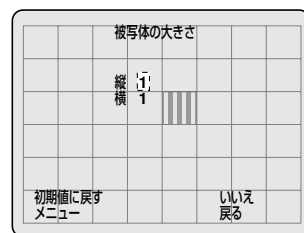


A 被写体の大きさを設定する

被写体の大きさに合わせて、センサーパターンを設定してください。設定したセンサーパターンの範囲内で被写体の動きを検知します。

- ① ↓で[被写体の大きさ](設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

被写体の大きさ画面になり、中央部にセンサーパターン(縦1/横1)が表示されています。



- ② レバーで、[縦]と[横]の設定値を調整する

設定値によって、センサーパターンのサイズが変わります。

- 縦：垂直方向のサイズ設定(1～6)
- 横：水平方向のサイズ設定(1～8)



縦×横の最大値は9です。これを超えると、一方のサイズが自動的に調整されます。

B モーションセンサーにマスクを設定する

木の揺れや光のチラツキなど、動きを検知したくない部分にはマスクを設定し、モーションセンサーが反応しないようにします。

- ① ↓で[マスク]を選び、↔で“入↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

モーションセンサーのマスク設定画面になります。左上部にはマスクパターンが表示されます。



- ② レバーでマスクを設定したい部分にマスクパターンを移動させ、[ENTER]ボタンを押す
マスクパターンが1つ設定されました。

同様の操作で、他の必要な箇所にもマスクパターンを設定してください。

＜マスクパターンを削除するには＞

削除したい箇所にマスクパターンを重ねて[ENTER]ボタンを押してください。

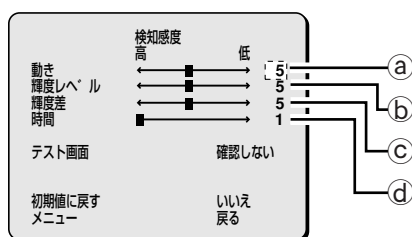
- ③ ↓でマスクパターンを最下段まで移動させ、レバーを下方向に約3秒押し続ける
モーションセンサーのマスク設定が終了します。

C 感度を設定する

動きの検知感度を設定します。

感度を調整することで、誤検知を防止できます。

- ① ↓で[感度] (設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す
検知感度画面になります。



- ② 各項目について、反応するレベルを設定する
いずれも、設定値を上げるほど感度が低くなります。

- ④ 動き：1～10

小さな動きの検知を避けたい場合は、設定値を上げてください。

- ⑤ 輝度レベル：1～10

暗い映像のノイズなどによる誤検知がある場合は、設定値を上げてください。

- ⑥ 輝度差：1～10

照明の入切などに反応させたくない場合は、設定値を上げてください。

- ④ 時間：1～60

動きの速い被写体の検知を避けたい場合は、設定値を上げてください。

- ③ 設定した検知感度を試してみたい場合は、↓で[テスト画面]を選び、↔で“確認する”を選択する

動きを検知した場合は、検知箇所にセンサーパターンが表示されます。必要に応じて、設定値の調整をおこなってください。

D ズームを設定する

動きを検知した被写体に対し、自動的にズームイン/ズームアウトする機能です。

- ① ↓で[ズーム]を選び、↔でズームモードを選択する

選択項目：

- 切：ズームを設定しない(初期設定)
- イン：画面中央部で動きを検知し、光軸を中心にズームインする
- アウト：画面全体(マスキング部分を除く)で動きを検知し、光軸を中心にズームアウトする
- 移動ズーム：画面全体(マスキング部分を除く)で動きを検知し、検知位置を中心にズームインする

- ② 選択したズームモードに応じて、光学ズーム倍率(ズーム比)を選択する

選択数値：

- イン：1.4倍、2倍、2.8倍、4倍、5.6倍、8倍、テレ端(テレ端までズームイン)、手動
- アウト：1/1.4倍、1/2倍、1/2.8倍、1/4倍、1/5.6倍、1/8倍、ワイド端(ワイド端までズームアウト)、手動
- 移動ズーム：1.4倍、2倍、2.8倍、4倍、5.6倍、8倍、テレ端(テレ端までズームイン)、手動

メモ

“手動”を選択すると、ズーム比設定画面が表示されます。実際の映像を見ながらズーム操作をし、ズーム倍率を決めてから[ENTER]ボタンを押してください。

ズーム倍率は、画面左下に表示されます。

- ③ ズームイン/ズームアウトの動作時間(時間)を選択する

選択数値：(全モード共通)

5秒、10秒、15秒、20秒、30秒、45秒、1分、2分、3分、4分、5分



選択できるのは、[持続時間] E の設定値の範囲内です。

パン/チルトの設定

E アラームの持続時間を設定する

動きを検知してアラーム信号を出力した際、ここで設定された時間が経過するまでは新たなアラームを受け付けません。

↓で[持続時間]を選び、↔でアラームの持続時間を選択する

選択数値：

5秒、10秒、15秒、20秒、30秒、45秒、1分、2分、3分、4分、5分

B モーションセンサー以外の項目を設定する

以下の項目は、カメラ設定、レンズ設定の操作と同じです。それぞれの参照ページをご覧ください。

- アイリス (P12)
- ホワイトバランス (P13)
- 逆光補正 (P15)
- 電子シャッター (P17)
- アパーチャー補正 (P18)
- AGC (P18)
- ガンマ (P19)
- デナイト (P20)

メモ

- アイリス、電子シャッター、モーションセンサーの各機能は、下表の組み合わせで使用できます。

アイリス	自動：電子感度アップ(入)	○	×	×	×	×
	手動：電子アイリス(入)	×	○	×	×	○
電子シャッター	低速	×	×	○	×	×
	高速	×	×	×	○	○
モーションセンサー		×	○	×	○	○

○：設定中 ×：設定不可 ◎：設定可

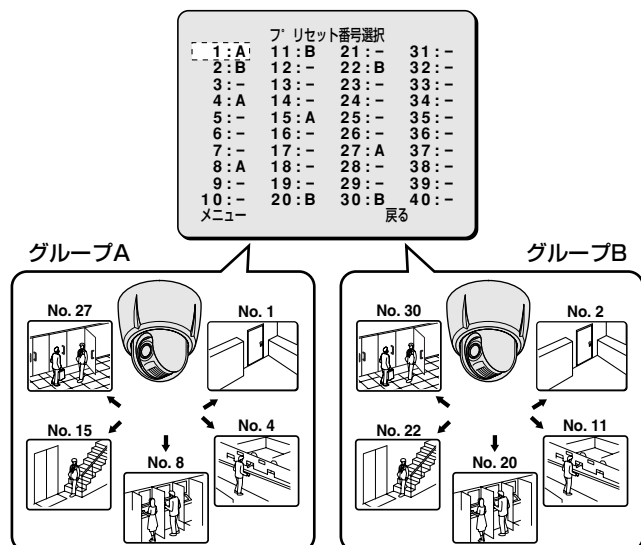
- [×]：各メニューを終了すると、設定内容が解除されます。

※メインメニューのカメラ設定の値にするには[カメラ設定の値にする] (はい) を選択してください。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

シーケンスグループを指定する

各プリセットポジションは、所属グループ (A～D) を指定できます。このグループは、シーケンスモードで巡回監視するときのグループになります。

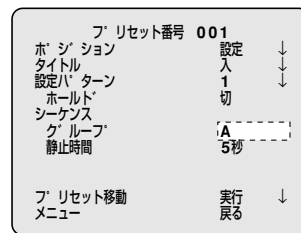


1 ↓で[プリセットポジション] (設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

プリセット番号選択画面が表示されます。

2 設定したいプリセット番号を選び、[ENTER]ボタンを押す

プリセット設定画面が表示されます。



3 ↓で[シーケンスグループ]を選び、↔でグループを選択する

選択項目：

- *：グループに登録しない (プリセットポジションのみ登録)
- A、B、C、D：グループを指定 (プリセット番号選択画面にグループが表示されます)

4 ↓で[静止時間]を選び、↔でシーケンス動作をおこなう際の静止時間を選択する

選択数値：

3秒、4秒、5秒、6秒、7秒、8秒、9秒、10秒、15秒、20秒、30秒、45秒、1分

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

プリセットポジションを削除する



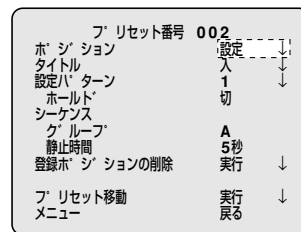
プリセット番号“1”のプリセットポジションは削除できません。

1 ↓で[プリセットポジション] (設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

プリセット番号選択画面が表示されます。

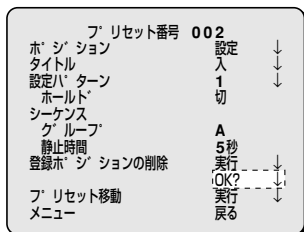
2 削除したいプリセット番号を選び、[ENTER]ボタンを押す

プリセット設定画面が表示されます。



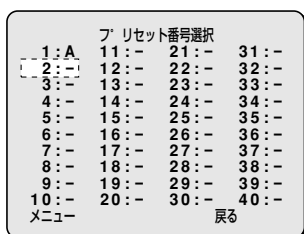
3 ↓で[登録ポジションの削除](実行↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

“実行”の下に“OK?”が表示されます。



4 ↓で“OK?”を選び、[ENTER]ボタンを押す

プリセットポジションが削除され、プリセット番号選択画面の表示が“-”になります。



■プリセットポジションに移動させる

次の操作で、監視位置が指定のプリセットポジションに移動します。

1 ↓で[プリセットポジション](設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

プリセット番号選択画面が表示されます。

2 プリセット番号を選び、[ENTER]ボタンを押す

プリセット設定画面が表示されます。

プリセット登録がされている場合は、監視位置がプリセットポジションに移動します。

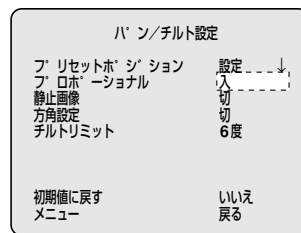
3 ↓で[プリセット移動](実行↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

プリセットポジションの状態でもメニュー画面を閉じます。

B プロポーション機能を設定する

プロポーション機能を設定すると、マニュアル操作によるパン/チルトの動作速度がズーム倍率に応じて変化します。(TELEになるほどスピードが遅くなります。)

1 ↓で[プロポーション]を選び、↔で“入/切”を選択する



選択項目：

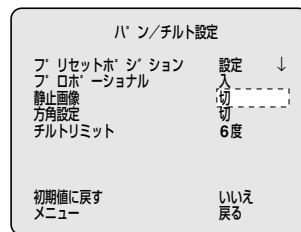
- 切：プロポーション機能を設定しない
- 入：プロポーション機能を設定する

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

C プリセット移動中の画像を設定する

シーケンスやプリセット移動の操作でカメラの監視位置が移動する際、移動直前の映像を静止画で表示することができます。移動が完了すると、新しい監視位置の動画映像に切り換わります。

1 ↓で[静止画像]を選び、↔で“入/切”を選択する



選択項目：

- 切：静止画にしない
- 入：移動直前の映像を静止画で表示する

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

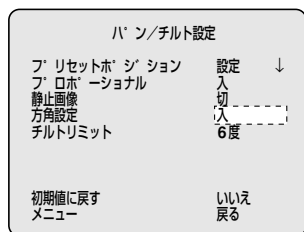
D カメラの方角を設定する

本機を設置する際に、角度情報（0度）を決める必要がある場合に設定してください。任意の方向を0度（北の方角）として設定できます。

1 レバーで操作し、あらかじめカメラを基準とした方角に向ける

2 ↓で[方角設定]を選び、↔で“設定↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

[方角設定]の“設定”が“入”に切り換わり、角度情報（0度）の設定を終了します。



選択項目：

- 切：角度情報を設定しない
- 入：角度情報を設定する
- 設定：設定スタンバイの状態です。カメラの方向を決めて[ENTER]ボタンを押すと設定が終了し、“入”の表示に切り換わります。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。



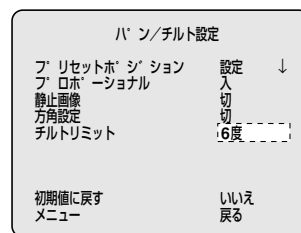
- カメラが回転する方向は時計回りです。北の方角を0度とみなしますので、90度は東の方角になります。
- カメラの角度情報を画面に表示する場合は、オプション設定の[各種情報の表示]で[角度情報]の設定を“入”にしてください。

E チルトの制限角度を設定する

通常、チルト角度の制限は水平0度に対して-5度までですが、ここではチルトの制限角度を設定することができます。

チルトの制限角度を設定すると、これを超える方向にはカメラを向けることができないようになります。

1 ↓で[チルトリミット]を選び、↔でチルトの制限角度を選択する



選択項目：

- 切：チルトリミット機能を設定しない
- 2度、0度、2度、4度、6度、8度、10度、12度、14度、16度、18度、20度、22度：
 - 選択した数値を、チルトの制限角度として設定する
- 手動：チルトの制限角度をマニュアル設定する（[ENTER]ボタンを押すと設定画面が表示されますので、実際の映像を見ながらレバー操作をし、制限角度を決めてから[ENTER]ボタンを押してください。）

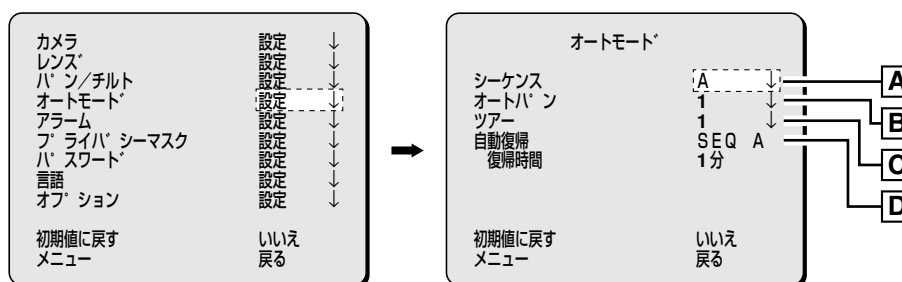
※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。



ドームカバーの0度付近にパーティングラインがあり、そのラインが画像に映ることがあります。その場合、フォーカス動作に影響を与えることがあります。

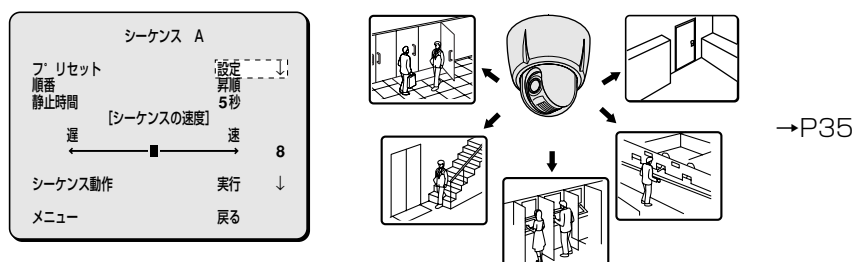
オートモードの設定

オートモードとは、多方向の監視場所を決めて自動的にカメラを動かして監視する方法です。オートモードには、シーケンスモード、オートパンモード、ツアーモード、自動復帰モードの4種類があります。



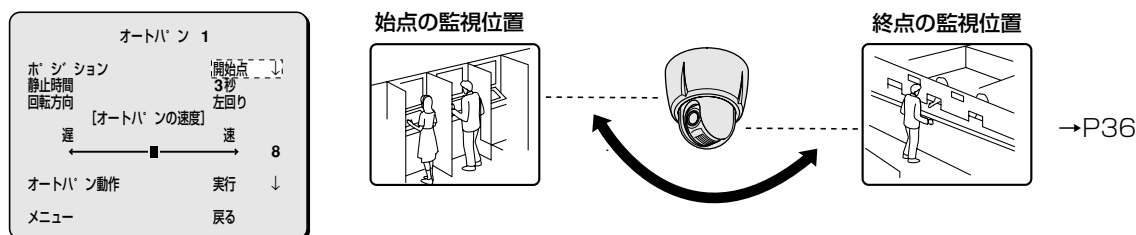
A プリセットポジションに連続移動する (シーケンス)

同じシーケンスグループに登録されている複数のプリセットポジションに、連続して移動します。



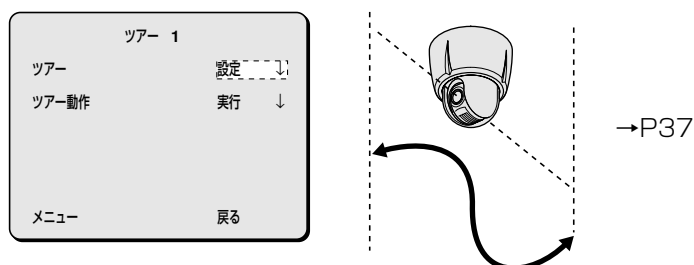
B 開始点と終了点を記憶させて2点間を往復して監視する (オートパン)

開始点と終了点を設定し、移動速度やパン方向などを指定して実行します。



C 移動軌跡やコマンドを記録して監視する (ツアー)

連続操作での移動軌跡やコマンドを記録して、同じ動作を繰り返し実行します。

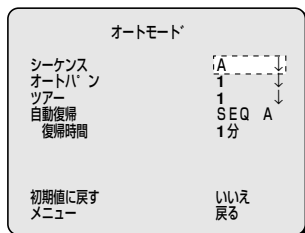


D 指定の監視状態に自動で復帰する (自動復帰)

一定時間操作がないとき、指定の監視状態に自動的に復帰させることができます。→P38

A プリセットポジションに連続移動する (シーケンス)

同じシーケンスグループに登録されている複数のプリセットポジションに、連続して移動します。4パターンまで登録できます。

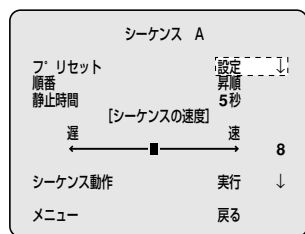


1 あらかじめ、プリセットポジションとシーケンスグループを設定しておく

シーケンスモードで連続監視するポジションを、同じグループに登録してください。

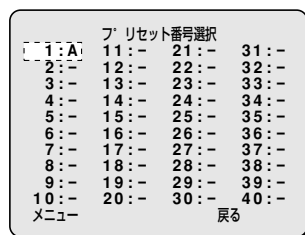
2 ↓で[シーケンス]を選び、グループ(A~D)を選択して[ENTER]ボタンを押す

シーケンス画面が表示されます。



3 巡回地点を確認する場合は、↓で[プリセット] (設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

プリセット番号選択画面が表示されます。



プリセットポジションのグループ表示を確認し、必要な場合は追加や修正をおこなってください。

↑で[メニュー]を選び、“戻る”のまま[ENTER]ボタンを押すと、手順2のシーケンス画面に戻ります。

4 ↓で[順番]を選び、↔で連続移動の順序を選択する

選択項目：

- 昇順：プリセット番号の順に連続移動する
- ランダム：グループ内のプリセットポジションをランダムに連続移動する

5 ↓で[静止時間]を選び、↔で各ポジションでの静止時間を選択する

選択項目：3秒、4秒、5秒、6秒、7秒、8秒、9秒、10秒、15秒、20秒、30秒、45秒、1分、プリセット



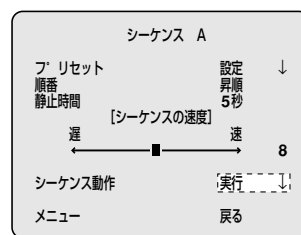
“プリセット”を選択すると、各プリセットポジションで設定した[静止時間]が適用されます。

6 ↓で[シーケンスの速度]を選び、↔で各ポジション間を移動する速さを選択する

選択項目：1 (遅い) ~ 15 (速い)

7 ↓で[シーケンス動作] (実行↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

メニューのオンスクリーン表示が消え、設定したシーケンス動作を連続して実行します。
[ENTER]ボタンを押すと、動作を停止します。

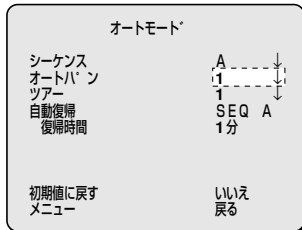


メモ

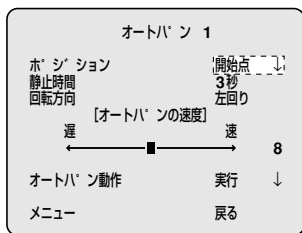
通常の監視画面では、システムコントローラーのメイン画面でオートモードの操作 (入/切) をおこないます。詳細は、システムコントローラーの取扱説明書をご参照ください。

B 開始点と終了点を記憶させて2点間を往復して監視する（オートパン）

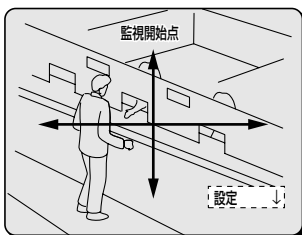
開始点と終了点を設定し、移動速度やパン方向などを指定して実行します。4パターンまで登録できます。



- 1 ↓で[オートパン]を選び、↔で登録番号(1～4)を選択して[ENTER]ボタンを押す
オートパン画面が表示されます。

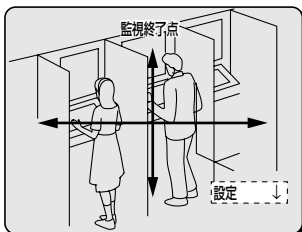


- 2 ↓で[ポジション]を選び、↔で“開始点↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す
監視開始点画面が表示されます。



- 3 レバーを操作し、開始点の位置を決めて[ENTER]ボタンを押す
オートパン画面に戻ります。

- 4 ↔で“終了点↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す
監視終了点画面が表示されます。



- 5 レバーを操作し、終了点の位置を決めて[ENTER]ボタンを押す
オートパン画面に戻ります。

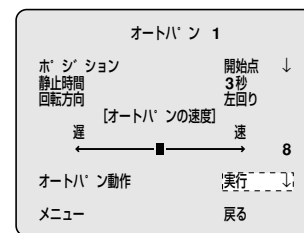
メモ 開始点と終了点が同じ位置に設定された場合は、同一角度で360度の回転動作をエンドレスでおこないます。回転の向きは、[回転方向]の設定に従います。

- 6 ↓で[静止時間]を選び、↔で両端点位置での静止時間を選択する
選択項目：1秒、2秒、3秒、4秒、5秒、10秒、20秒、30秒

- 7 ↓で[回転方向]を選び、↔でパン方向を選択する
選択項目：左回り、右回り

- 8 ↓で[オートパンの速度]を選び、↔で両端点間を移動する速さを選択する
選択項目：1（遅い）～15（速い）

- 9 ↓で[オートパン動作](実行↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す
メニューのオンスクリーン表示が消え、設定したオートパン動作を連続して実行します。
[ENTER]ボタンを押すと、動作を停止します。

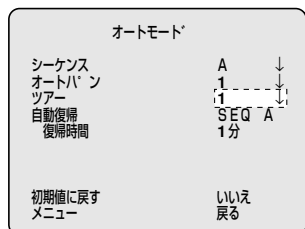


メモ 通常の監視画面では、システムコントローラーのメイン画面でオートモードの操作（入/切）をおこないます。詳細は、システムコントローラーの取扱説明書をご参照ください。

! オートパンの動作中は、オートフォーカスは機能しません。マニュアルフォーカスモードに切り換わり、開始点で設定されたフォーカスに固定されます。
ただし、スピードが遅い時や端点での静止時間が5秒以上の場合は、オートフォーカス動作をおこないます。

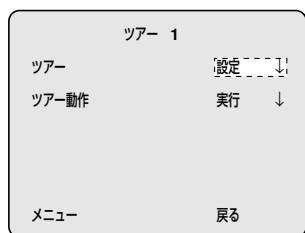
C 移動軌跡やコマンドを記録して監視する(ツアー)

連続操作の移動軌跡やコマンドを記録して、同じ動作を繰り返し実行します。4パターンまで登録できます。



- 1 ↓で[ツアー]を選び、↔で登録番号(1~4)を選択して[ENTER]ボタンを押す

ツアー画面が表示されます。

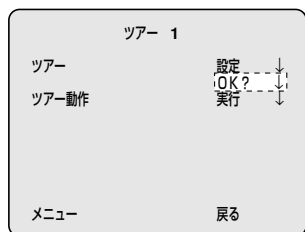


- 2 ↓で[ツアー] (設定 ↓) を選び、[ENTER]ボタンを押す

“設定 ↓” の下段に “OK?” が表示されます。

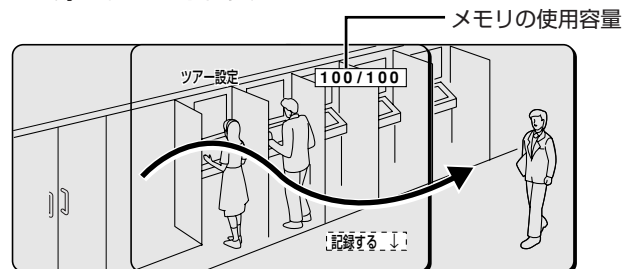
- 3 ↓ “OK?” を選び、[ENTER]ボタンを押す

ツアー設定画面に切り換わり、画面右下に “記録する ↓” を表示して記録を開始します。



- 4 カメラを操作する

パン/チルト操作やコマンドによる動作が連続して記録されていきます。



記録可能な操作/コマンド：

パン、チルト、プリセット移動、ズーム、ワンプッシュオートフォーカス



画面上に、メモリの使用容量が表示されます。“0/100” からスタートし、“100/100” で満杯になります。

- 5 操作が終了したら[ENTER]ボタンを押す

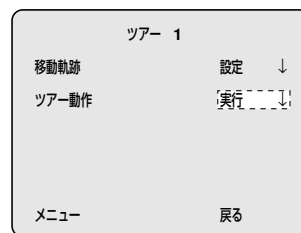
操作内容がツアー登録され、ツアー画面に戻ります。

メモリが満杯になった場合は、その時点で自動的に記録を終了します。

- 6 ↓で[ツアー動作] (実行 ↓) を選び、[ENTER]ボタンを押す

メニューのオンスクリーン表示が消え、設定したツアー動作を連続して実行します。

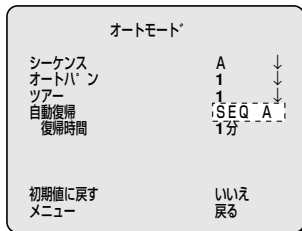
[ENTER]ボタンを押すと、動作を停止します。



通常の監視画面では、システムコントローラーのメイン画面でオートモードの操作(入/切)をおこないます。詳細は、システムコントローラーの取扱説明書をご参照ください。

D 指定の監視状態に自動で復帰する (自動復帰)

一定時間操作がないとき、オートモードやプリセットポジションなど、指定の監視状態に自動的に復帰させることができます。



メモ

自動復帰モードがすでに設定されている場合は、システムコントローラーの操作でも入/切を切り換えることができます。[AUX ON] または [AUX OFF] ボタンを押して、数値入力画面で“4”を選択してください。

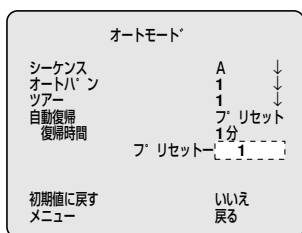
1 ↓で[自動復帰]を選び、↔で復帰後のモードを選択する

選択項目：

- 切：自動復帰しない
- SEQ A～D：シーケンシャルモードA～D
- パン1～4：オートパンモード1～4
- ツアー1～4：ツアーモード1～4
- プリセット：プリセットポジション
(1～255または1～127)
- 前の動作：元の監視状態に復帰する

2 手順1で“プリセット”を選んだ場合は、↓で[プリセット-]を選び、↔でプリセット番号を選択する

プリセット番号の選択欄は、“プリセット”を選んだときにのみ表示されます。



選択項目：VCC-9800⇒1～255
VCC-9600⇒1～127

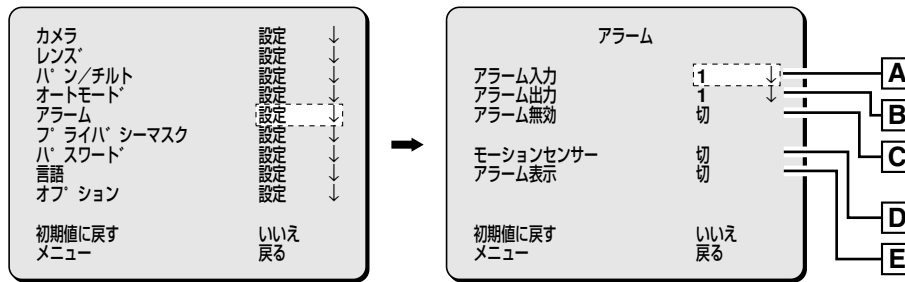
3 ↓で[復帰時間]を選び、↔で自動復帰するまでの時間を選択する

選択項目：10秒、20秒、30秒、40秒、50秒、1分、
2分、3分、4分、5分、6分、7分、8分、9分、
10分

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

アラームの設定

カメラのアラーム入力とアラーム出力に関する設定です。



A アラーム入力を設定する

アラームの入力番号ごとに、入力条件や対応動作などを設定します。

アラーム入力 1	
極性	NO
アラーム後動作	リセット
自動復帰	切
モーションセンサーアラーム	切
アラーム出力	切
ライン出力	切
アラーム入力無効時間	5秒
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

→P40

D モーションセンサーを設定する

アラーム検知用のモーションセンサーを設定します。

モーションセンサーエリア	
エリア 1	切
エリア 2	切
エリア 3	切
エリア 4	切
感度	設定
アラーム出力	切
ライン出力	切
アラーム入力無効時間	5秒
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

→P42

B アラーム出力を設定する

アラームの出力番号ごとに出力条件を設定します。

アラーム出力 1	
アラーム出力	入
極性	NO
アラーム持続時間	5秒
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

→P41

E アラーム表示を設定する

アラームが発生すると、モニターに表示されているプリセット番号とカメラIDが点滅して知らせてくれます。

アラーム	
アラーム入力	1
アラーム出力	1
アラーム無効	切
モーションセンサー	切
アラーム表示	入
表示時間	5秒
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

→P44

C アラーム無効時間を設定する

本機をマニュアル操作した後は、一定時間アラームを受け付けないように設定できます。

アラーム	
アラーム入力	1
アラーム出力	1
アラーム無効	入
無効時間	2分
モーションセンサー	リセット
アラーム表示	切
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

→P42

A アラーム入力を設定する

アラームの入力番号ごとに、入力条件や対応動作などを設定します。

アラーム	
アラーム入力	1
アラーム出力	切
アラーム無効	切
モーションセンサー	切
アラーム表示	切
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

- 1 ↓で[アラーム入力]を選び、↔でアラーム入力番号(1～8)を選択して[ENTER]ボタンを押す

アラーム入力画面が表示されます。

アラーム入力 1	
極性	NO
アラーム後動作	プリセット
自動復帰	入
モーションセンサーアラーム	OR
アラーム出力	切
ライン出力	切
アラーム入力無効時間	5秒
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

- 2 ↓で[極性]を選び、↔でアラーム入力の信号極性を選択する

選択項目：

- NO (ノーマルオープン)：通常はオープン状態で、クローズしたら入力を検知する
- NC (ノーマルクローズ)：通常はクローズ状態で、オープンしたら入力を検知する

- 3 ↓で[アラーム後動作]を選び、↔でアラーム入力後の動作を選択する

選択項目：

- プリセット：アラームを検知すると、アラーム入力番号と同じ番号のプリセットポジションにカメラを移動する



あらかじめ、アラームの入力番号に対応するように、プリセットポジションを設定しておいてください。

- SEQ A～D：シーケンシャルモードA～Dの動作を開始する
- パン1～4：オートパンモード1～4の動作を開始する
- ツアー1～4：ツアーモード1～4の動作を開始する
- オフ：アラーム入力後の動作を実行しない

- 4 ↓で[自動復帰]を選び、↔で[アラーム後動作]が終了した後の動作を選択する

選択項目：

- 切：元の動作状態には戻らない
- 入：元の動作状態に戻る



- [自動復帰]を“入”に設定した場合、元の動作状態に戻るのには[アラーム入力無効時間]で設定した時間の経過後です。
- [アラーム入力無効時間]の設定時間内に別のアラーム入力があったときは、新しいアラームに対応して動作します。

- 5 ↓で[モーションセンサーアラーム]を選び、→でモーションセンサーの使用方法を選択する

アラームの判定基準として、カメラの内蔵モーションセンサーのアラームを併用し、組み合わせることができます。

選択項目：

- AND：モーションセンサーと外部入力の両方でアラームを検知したらアラームと判定する
- OR：モーションセンサーと外部入力のどちらかでアラームを検知したらアラームと判定する



モーションセンサーを使用する場合は、[アラーム]の[モーションセンサー]設定を“プリセット”にしてください。

- 6 ↓で[アラーム出力]を選び、↔でアラームの出力端子を選択する

アラーム出力端子からアラーム信号を出力できますので、接続機器により、録画、警告音、ランプ点灯などの対応が可能です。

選択項目：

- 切：アラーム信号を出力しない
- 1：出力端子1を使う
- 2：出力端子2を使う

- 7 ↓で[ライン出力]を選び、↔でコントローラーとの接続ラインにアラーム信号を出力するかどうかを選択する

選択項目：

- 切：接続ラインにアラーム信号を出力しない
- 入：接続ラインにアラーム信号を出力する

アラームの設定

8 ↓で[アラーム入力無効時間]を選び、↔でアラームの時間間隔を選択する

アラームを検知した際、ここで設定された時間が経過するまでは新たなアラームを受け付けません。

選択項目：5秒、10秒、15秒、20秒、30秒、45秒、1分、2分、3分、4分、5分

メモ アラームの時間間隔は、同じ番号の外部スイッチに適用されます。別の外部スイッチからのアラーム入力は受け付けません。



- アラーム入力をデナイト機能の外部制御入力として使用しているときは、画面右上に「D/N」と表示されます。デナイト機能で使用中は、[極性]以外の項目は設定できません。
- 同時に複数のアラーム入力があった場合は、入力番号の小さいものが優先されます。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

B アラーム出力を設定する

アラームの出力番号ごとに出力条件を設定します。

アラーム	
アラーム入力	1
アラーム出力	1
アラーム無効	切
モーションセンサー	切
アラーム表示	切
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

1 ↓で[アラーム出力]を選び、↔でアラーム出力番号(1、2)を選択して[ENTER]ボタンを押す アラーム出力画面が表示されます。

アラーム出力 1	
アラーム出力	入
極性	NO
アラーム持続時間	5秒
初期値に戻す	いいえ
メニュー	戻る

2 ↓で[アラーム出力]を選び、アラーム出力の設定を選択する

選択項目：

- 切：アラーム信号を出力しない
- 入：アラーム信号を出力する
- リモート：リモート操作でアラーム信号を出力する
(手順1で[アラーム出力]を“2”に設定した場合にのみ選択可能)



- “リモート”を選択すると、[アラーム持続時間]で“手動”が選択可能になり、アラーム出力が手動で操作できます。
- “リモート”を選択すると、アラームを検知してもアラーム信号は自動出力されません。

3 ↓で[極性]を選び、↔でアラーム出力の信号極性を選択する

選択項目：

- NO (ノーマルオープン)：通常はオープン状態で、クローズしたら出力する
- NC (ノーマルクローズ)：通常はクローズ状態で、オープンしたら出力する

4 ↓で[アラーム持続時間]を選び、↔でアラーム信号の出力時間を選択する

接続機器側では、設定された時間だけ、録画、警告音、ランプ点灯などの動作をおこないます。

選択項目：2秒、5秒、10秒、15秒、20秒、30秒、45秒、1分、2分、3分、4分、5分、手動



“手動”は、手順2の[アラーム出力]で“リモート”を選択した場合にのみ表示されます。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

リモート設定でのアラーム出力時間について

[アラーム持続時間]の設定によって異なります。

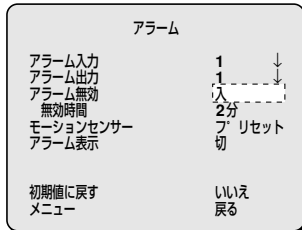
- “2秒～5分”に設定した場合：設定された時間だけ、アラームを出力します。
- “手動”を選択した場合：システムコントローラーの操作で、アラーム出力の入／切をコントロールします。[AUX ON] または [AUX OFF] ボタンを押して、数値入力画面で“6”を選択してください。



リモート設定でアラーム出力中は、通常のアラーム出力はできません。

C アラーム無効時間を設定する

アラーム無効時間を設定すると、手動によるPTZ操作中と操作終了後の一定時間はアラーム入力を受け付けません。



メモ アラーム無効時間の入/切の切り換えは、システムコントローラーでも操作できます。[AUX ON] または [AUX OFF] ボタンを押して、数値入力画面で“8”を選択してください。

1 ↑で[アラーム無効]を選び、↔で“入/切”を選択して[ENTER]ボタンを押す

選択項目：

- 切：アラーム無効時間を設定しない
- 入：アラーム無効時間を設定する
(下段に[無効時間]が表示されます。)

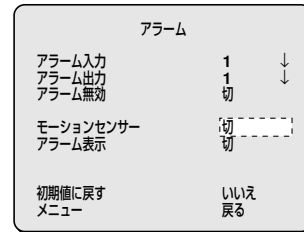
2 “入”を選択したときは、↓で[無効時間]を選び、↔で時間を選択する

選択項目：1分、2分、3分、4分、5分、6分、7分、8分、9分、10分

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

D モーションセンサーを設定する

カメラ内蔵のモーションセンサー機能により、侵入者などの被写体の動きを検知することができます。



↓で[モーションセンサー]を選び、↔でアラーム検知に使用するモーションセンサーを選択してください。

選択項目：

- 切：モーションセンサーを使用しない
- エリア：モーションセンサーエリアのセンサーを使用する
(モーションセンサーエリア画面が表示されます)
- プリセット：設定パターンの[モーションセンサー設定]で設定したモーションセンサーを使用する

メモ [プリセット]ではプリセットポジションでのみ動きを検知しますが、[エリア]ではパン/チルト動作で監視可能な全空間に対して検知領域を設定し、動きを検知することができます。

■モーションセンサーエリアを設定する

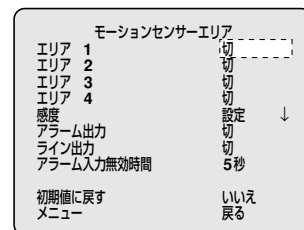
動きを検知したい監視領域を4つ(エリア1～4)まで設定できます。

監視領域(エリア)と検知条件を設定する

モーションセンサーエリア画面で、以下の操作をしてください。

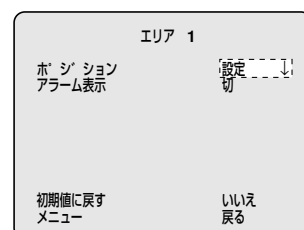
1 ↑で[モーションセンサー]を選び、↔で“エリア↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

モーションセンサーエリア画面が表示されます。



2 ↑で[エリア(1～4)]を選び、↔で“入↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

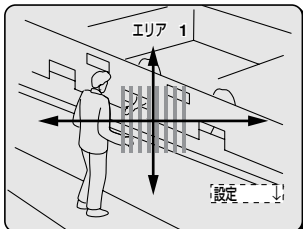
エリア設定メニューが表示されます。



アラームの設定

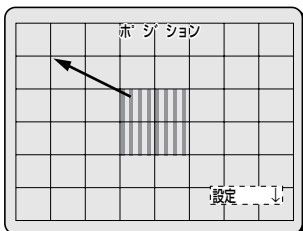
- 3** ↓で[ポジション](設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

エリア画面が表示されます。この画面では、カメラをパン／チルト操作して、動きを検知したい監視領域を設定します。



- 4** レバーでパン／チルト操作をして、[ENTER]ボタンを押す

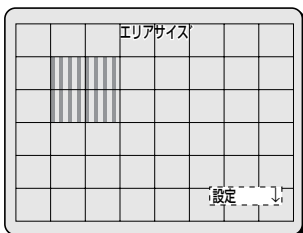
ポジション画面になり、中央部にセンサーパターン(最小サイズ)が表示されます。この画面では、センサー領域の位置を設定します。



- 5** センサーを設定したい位置にセンサーパターンを移動し、[ENTER]ボタンを押す

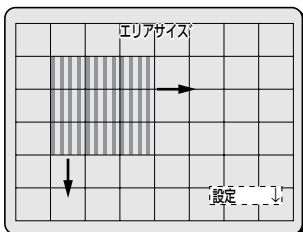
センサーパターンが、センサーを設定する領域の左上に位置するように調整してください。

[ENTER] ボタンを押すと、エリアサイズ画面になります。この画面では、センサー領域の大きさを設定します。



- 6** レバーでセンサーパターンの大きさを調整し、[ENTER]ボタンを押す

ポジション画面で移動したセンサーパターンの位置を基点にして、↓で下方向に、→で右方向にセンサーパターンが拡大します。



設定後はエリア設定メニューに戻ります。

- 7** ↓で[アラーム表示]を選び、↔で“入/切”を選択する

エリア画面で設定したセンサー領域を、監視画面に表示するかどうかを選択してください。

選択項目：

- 切：表示しない
- 入：表示する

- 8** 続けて他のエリア(2～4)を設定する場合は

モーションセンサーエリア画面に戻って、同様の操作(手順2～7)で設定してください。

■ 検知感度を設定する

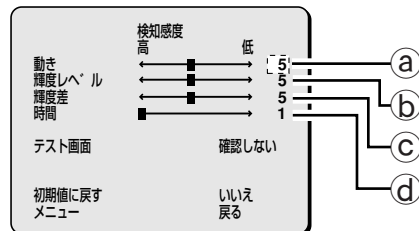
動きの検知感度を設定します。感度を調整することで誤検知を防止できます。

モーションセンサーエリア画面で、以下の操作をしてください。

- 1** ↓で[感度](設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

検知感度画面が表示されます。

各項目について、反応するレベルを設定してください。各項目とも、設定値を上げるほど感度が低くなります。



- ① 感度：1～10

小さな動きの検知を避けたい場合は、設定値を上げてください。

- ② 輝度レベル：1～10

暗い映像のノイズなどによる誤検知がある場合は、設定値を上げてください。

- ③ 輝度差：1～10

照明の入切などに反応させたくない場合は、設定値を上げてください。

- ④ 時間：1～60

動きの速い被写体の検知を避けたい場合は、設定値を上げてください。

- 2** 設定した検知感度を試してみたい場合は、↓で[テスト画面]を選び、↔で“エリア番号(1～4)”を選択する

選択したエリアの検知感度をテストすることができます。

動きを検知した場合は、検知箇所にセンサーパターンが表示されます。必要に応じて設定値を調整してください。

アラーム出力を設定する

監視領域（エリア1～4）で動きを検知した場合のアラーム出力を設定します。

モーションセンサーエリア画面に戻って、以下の設定をしてください。

モーションセンサーエリア		
エリア 1	切	
エリア 2	切	
エリア 3	切	
エリア 4	切	
感度	設定	↓
アラーム出力	切	
ライン出力	切	
アラーム入力無効時間	5秒	
初期値に戻す	いいえ	
メニュー	戻る	

- 1 ↓で[アラーム出力]を選び、↔でアラームの出力端子を選択する

選択項目：

- 切：アラーム信号を出力しない
- 1：出力端子1を使う
- 2：出力端子2を使う

- 2 ↓で[ライン出力]を選び、↔でコントローラとの接続ラインにアラーム信号を出力するかどうかを選択する

選択項目：

- 切：接続ラインにアラーム信号を出力しない
- 入：接続ラインにアラーム信号を出力する

- 3 ↓で[アラーム入力無効時間]を選び、↔でアラームの時間間隔を選択する

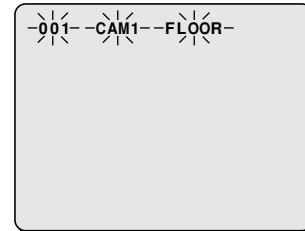
選択項目：5秒、10秒、15秒、20秒、30秒、45秒、1分、2分、3分、4分、5分

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

E アラーム表示を設定する

アラームが発生すると、モニターに表示されているプリセット番号、カメラID、タイトルが点滅して知らせてくれます。

モニターの表示



アラーム		
アラーム入力	1	↓
アラーム出力	1	
アラーム無効時間	1分	
モーションセンサー	プリセット	
アラーム表示	入	
表示時間	5秒	
初期値に戻す	いいえ	
メニュー	戻る	

- 1 ↓で[アラーム表示]を選び、↔で“入/切”を選択する

選択項目：

- 切：点滅表示しない
- 入：点滅表示する

（下段に[表示時間]が表示されます。）

- 2 “入”を選択したときは、↓で[表示時間]を選び、点滅表示時間を選択する

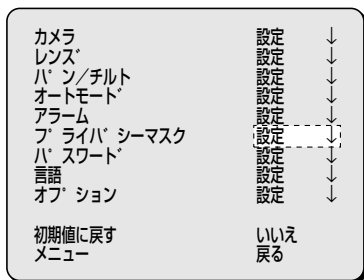
選択項目：5秒、10秒、15秒、20秒、30秒、45秒、1分、2分、3分、4分、5分

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

プライバシーマスクの設定

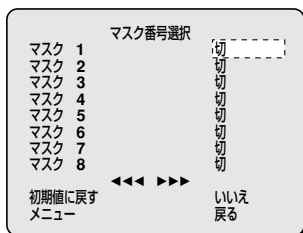
監視映像の中でもプライバシーを保護しなければならない箇所があります。そのような箇所をプライバシーマスク（グレー）で覆うことで監視できないようにすることができます。

プライバシーマスクは、24ヶ所まで設定できます。



1 ↓で[プライバシーマスク]（設定↓）を選び、[ENTER]ボタンを押す

マスク番号選択画面が表示されます。



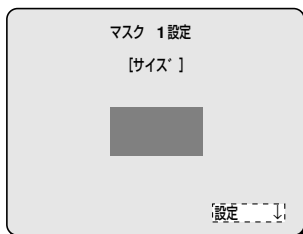
2 ↓でマスク番号（1～24）を選び、→で“設定↓”を選択して[ENTER]ボタンを押す

ポジション画面になり、中央部にマスクパターンが表示されます。



3 レバーで監視映像を移動させて設定位置を決め、[ENTER]ボタンを押す

サイズ画面になります。

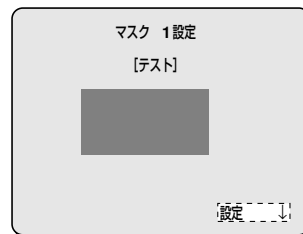


メモ

レンズが端点（チルトリミット“切”）に移動した状態で[ENTER]ボタンを押すと、監視映像が固定されます。レバー操作でマスクパターンが動きますので、設定位置を決め[ENTER]ボタンを押してください。

4 ↑で上下幅を、↔で左右幅を設定して[ENTER]ボタンを押す

テスト画面になります。レバーで監視映像を移動すると、設定したマスクパターンの状態を確認できます。



5 [ENTER]ボタンを押す

プライバシーマスクの設定を終了し、マスク番号選択画面に戻ります。マスクの設定が“入”になっていることを確認してください。

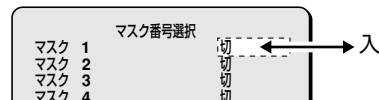
続けて他のマスクを設定する場合は、手順2～4を繰り返してください。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

マスク設定の切り換え

一旦プライバシーマスクを設定すると、必要に応じて設定されたマスクの入/切を選択できます。

↑でマスク番号を選び、↔で“入/切”を選択してください。



ページの切り換え

プライバシーマスクは24ヶ所まで設定できますので、マスク番号選択画面は3ページに分かれています。

ページを切り換える場合は、カーソルを画面下のページ切り換えボタンに移動させ、↔で切り換え方向を選んでから[ENTER]ボタンを押してください。

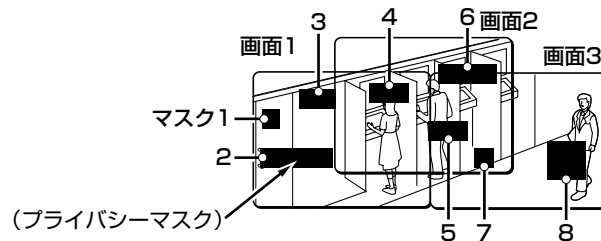
◀◀◀：前のページへ

▶▶▶：次のページへ



設定枚数の制限

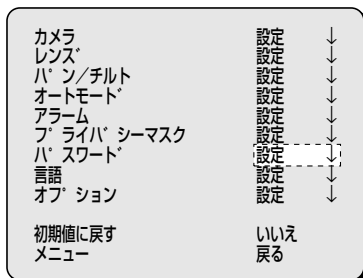
プライバシーマスクは24ヶ所まで設定できますが、1画面上では4ヶ所までしか設定できません。



1画面上にマスクが5枚以上設定されている場合は画面タイトルの右に“表示4まで”と表示され、設定番号の一番大きいマスクが消去されます。

パスワードの設定

パスワードを設定すると、メニュー設定の操作を特定のユーザーに限定することができます。



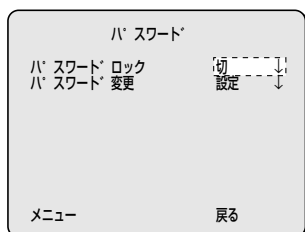
■パスワードロックを設定する

パスワードロックを設定すると、メニュー画面を表示する際にパスワード入力が必要になります。それぞれのメニューのパスワード画面を開いて設定してください。

メモ パスワードは、メインメニュー用と詳細設定メニュー用にそれぞれ別に設定できます。

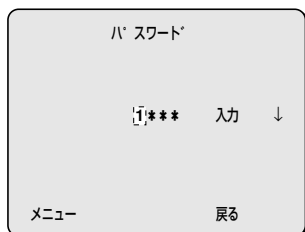
- 1 ↓で[パスワード](設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

パスワード画面が表示されます。



- 2 ↓で[パスワードロック](切↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

パスワード入力画面が表示されます。



- 3 ←→でカーソルの位置を移動させ、↑で数字を選択する

初めて入力する場合は、工場出荷値(1234)を入力してください。

- 4 4桁のパスワードを入力したら、[ENTER]を押す

パスワードが正しく入力されるとパスワードの下に“OK”が表示され、パスワードロックが設定されます。



パスワード入力を間違えると“NG”が表示され、カーソルが“戻る”に移動します。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

■パスワードロックを解除する

- 1 ↓で[パスワード](設定↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

パスワード画面が表示されます。

- 2 ↓で[パスワードロック](入↓)を選び、[ENTER]ボタンを押す

パスワード入力画面が表示されます。

- 3 レバー操作でパスワード欄にパスワードを入力し、[ENTER]を押す

パスワードの下に“OK”が表示され、パスワードロックが解除されます。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

パスワードの設定

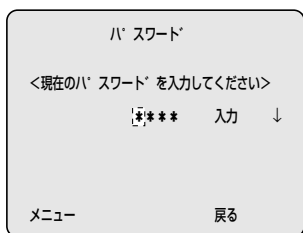
■パスワードを変更する

- 1 ↓で[パスワード] (設定 ↓) を選び、[ENTER] ボタンを押す

パスワード画面が表示されます。

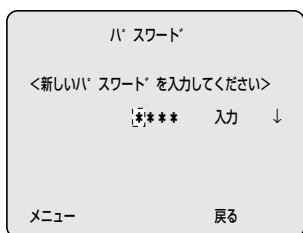
- 2 ↓で[パスワード変更] (設定 ↓) を選び、[ENTER] ボタンを押す

パスワード変更画面が表示されます。



- 3 レバー操作で現在のパスワードを入力し、[ENTER] を押す

パスワードが正しく入力されると、新しいパスワードの入力欄が表示されます。



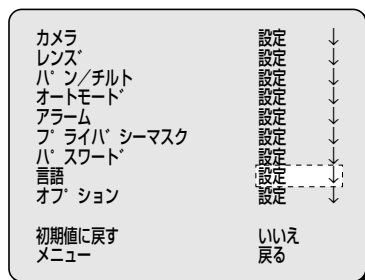
- 4 レバー操作で新しいパスワードを入力し、[ENTER] を押す

パスワードの下に“OK”が表示され、パスワード変更が終了します。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

言語の設定

画面の表示言語（日本語/英語）を選択してください。
初期設定は日本語です。



- 1 ↓で[言語] (設定 ↓) を選び、[ENTER] ボタンを押す

言語画面が表示されます。



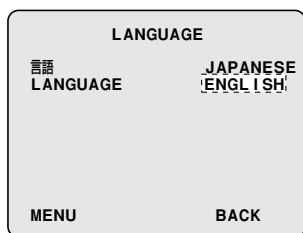
- 2 ↓で言語を選び、[ENTER] ボタンを押す

選択した言語の表示になります。

日本語の場合



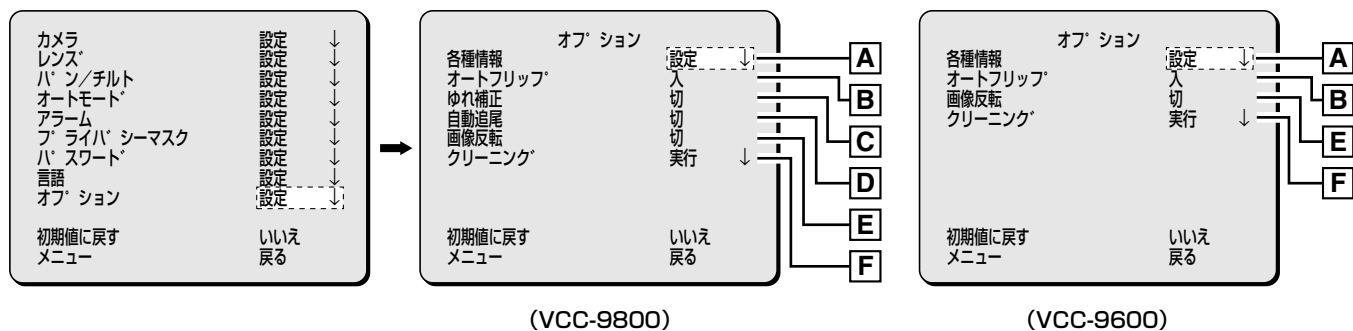
英語の場合



※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

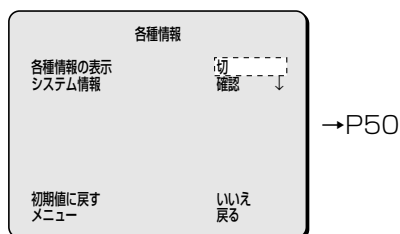
オプション設定

本機をより効果的にご利用いただくためのオプションメニューです。



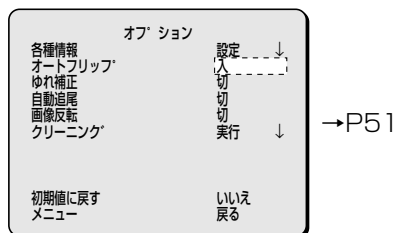
A 各種情報を表示する

モニターに表示する情報の種類や表示位置を設定できます。



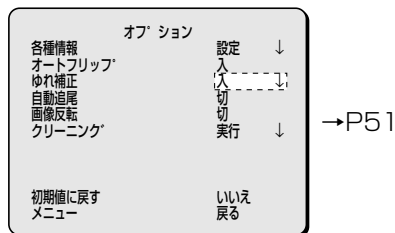
B オートフリップ機能を設定する

チルト動作で90度以上動作した場合に、映像の上下左右を電子的に反転させる機能です。



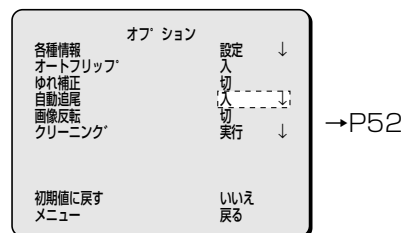
C 揺れを補正する (VCC-9800)

揺れがあった場合に、カメラの映像を自動的に補正します。



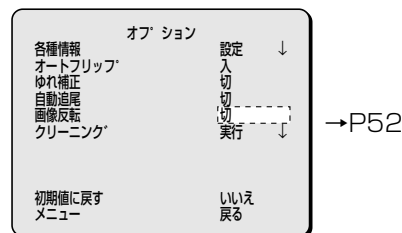
D 自動追尾機能を設定する (VCC-9800)

被写体の動きに合わせて、自動的にカメラの向きが変わります。



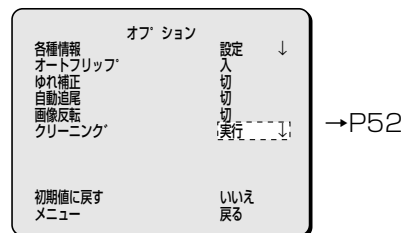
E 画像反転機能を設定する

表示映像を電子的に反転させることができます。



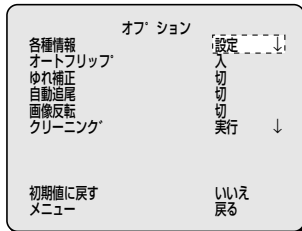
F クリーニング機能を使う

カメラの水平回転部をクリーニングします。



A 各種情報を表示する

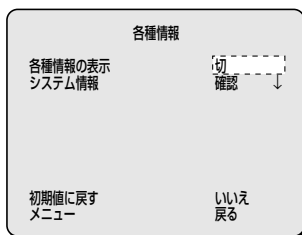
モニターに表示する情報の種類や表示位置を設定できます。



■ モニターに表示する項目を選択する

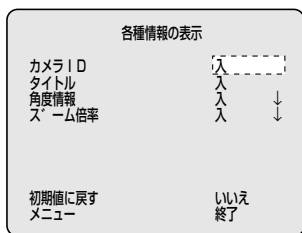
- 1 ↓で[各種情報] (設定 ↓) を選び、[ENTER] ボタンを押す

各種情報画面が表示されます。



- 2 ↓で[各種情報の表示] を選び、↔で“入 ↓”を選択して[ENTER] ボタンを押す

各種情報の表示画面が表示されます。



- 3 ↓で項目を選び、↔で“入 (表示する) / 切 (表示しない)”を選択して[ENTER] ボタンを押す

選択項目：

- カメラID
- タイトル
- 角度情報
- ズーム倍率

表示位置の調整

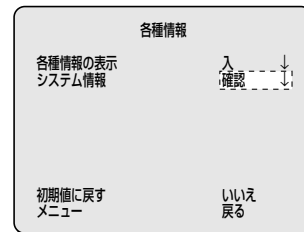
[角度情報]と[ズーム倍率]は、表示位置を調整できます。“入 ↓”を選んで[ENTER]ボタンを押すと調整用の画面に切り換わりますので、レバーで表示位置を調整してください。元に戻すときは、再度[ENTER]ボタンを押してください。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

■ システム情報を表示する

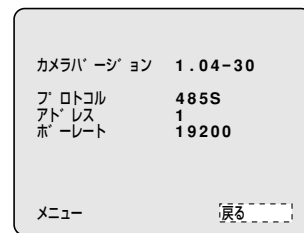
- 1 ↓で[各種情報] (設定 ↓) を選び、[ENTER] ボタンを押す

各種情報画面が表示されます。



- 2 ↓で[システム情報] (確認 ↓) を選び、[ENTER] ボタンを押す

システム情報が表示されます。



アドレスの設定

カメラのアドレス設定スイッチの設定が“0”の場合は、メニュー画面からアドレスを設定できます。

- 1 システム情報表示画面で[アドレス]を選び、[ENTER] ボタンを押す

スイッチの設定が“0”の場合は、アドレス番号が反転表示されます。



初期値は“001”です。

- 2 レバー操作でアドレス番号を入力する

↔で桁を選び、↓で番号を選択してください。

- 3 レバーを左方向に操作し、アドレス番号を反転表示に戻す

アドレスの設定を終了します。

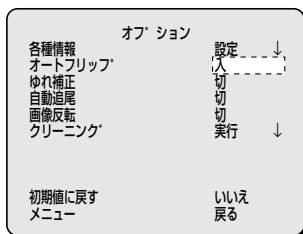


カメラの電源を入れ直すと、アドレス設定が有効になります。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

B オートフリップ機能を設定する

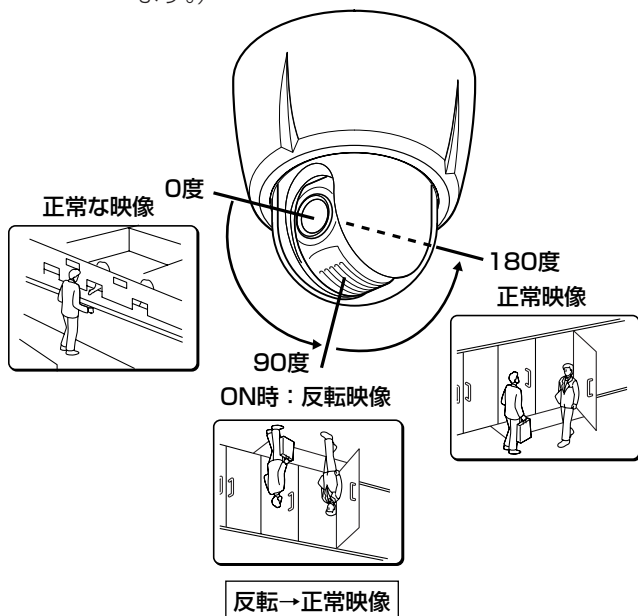
チルト動作で90度以上動作した場合に、映像の上下左右を電子的に反転させる機能です。



- 1 ↓で[オートフリップ]を選び、↔で“入”を選択する

選択項目：

- 切：自動反転機能を設定しない
(チルト角度が90度になると動作を停止します。)
- 入：自動反転機能を設定する
(チルト角度が180度の連続監視が可能になります。)



自動的に映像が反転して、逆さ映像が正常な映像になります。

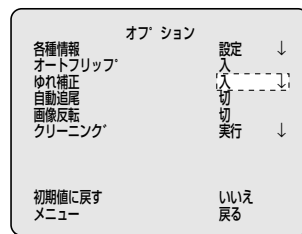


映像が反転するタイミングは、チルト角度が約90度付近で、電子的に画像が反転します。(反転の時にはチルト動作が一旦停止します。)

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

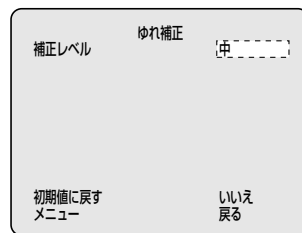
C 揺れを補正する (VCC-9800)

カメラが設置されている柱、ポール、壁などが揺れた場合に、カメラの映像を自動的に補正します。



- 1 ↓で[ゆれ補正]を選び、↔で“入↓”を選択して[ENTER] ボタンを押す

ゆれ補正画面が表示されます。



揺れを補正しないときは、[ゆれ補正]を“切”に設定してください。

- 2 ↔で揺れ補正のレベルを選択する

レベルを高くすると補正量が増え、大きな揺れに対応します。

選択項目：

- 低
- 中
- 高

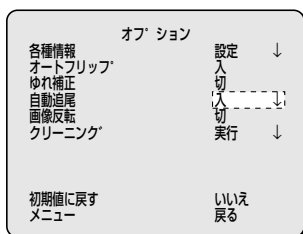


- 揺れ補正機能は、カメラ取り付け用ポールなどによる振動周波数のゆっくりとした揺れ（およそ15Hz以下）の補正機能であり、エンジンやモーターなどによる強い振動や衝撃がカメラに直接加わる場所では使用しないでください。
- 揺れの大きさや周期の状態によっては、揺れ補正機能が動作しない場合があります。
- パン、チルト、ズームやオートモード、プリセット移動などの操作でカメラが移動中の場合は、揺れ補正機能は動作しません。ただし、これらの操作中でも、カメラが静止している状態では動作します。
- 揺れの補正中は画像の解像度が低下し、画角も多少狭くなります。補正レベルを高くするほど解像度がより低下し、画角も狭くなります。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

D 自動追尾機能を設定する (VCC-9800)

モーションセンサーが動きを検知すると、被写体の動きに合わせて自動的にカメラの向きが変わります。

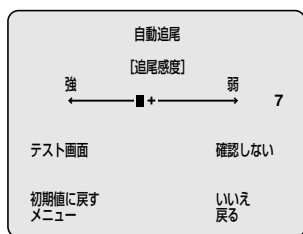


メモ 自動追尾機能の入/切の切り換えは、システムコントローラーでも操作できます。[AUX ON] または [AUX OFF] ボタンを押して、数値入力画面で“9”を選択してください。

! アラーム設定の[モーションセンサー]が“プリセット”または“エリア”に設定されている場合は、本機能は設定できません。

1 ↓で[自動追尾]を選び、↔で“入↓”を選択して[ENTER] ボタンを押す

自動追尾画面が表示されます。



自動追尾機能を設定しないときは、[自動追尾] を“切”に設定してください。

2 ↓で[追尾感度]を選び、↔で動きの検知感度を設定する

設定値を上げるほど感度が低くなります。

3 検知感度を試してみたい場合は、↓で[テスト画面]を選び、↔で“確認する”を選択する

動きを検知した場合は、検知箇所にセンサーパターンが表示されます。必要に応じて、設定値の調整をしてください。

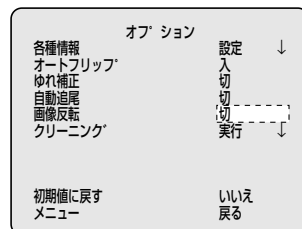
!

- モーションセンサーは明るさの変化によって被写体の動きを検知しますので、大きさや明るさなどの被写体の条件によっては、追尾機能が動作しないことがあります。
- 動きのある被写体が複数ある場合は、動き(明るさの変化)の大きい被写体を追尾します。
- パン、チルト、ズームやオートモード、プリセット移動などの操作中は、自動追尾機能は動作しません。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

E 画像反転機能を設定する

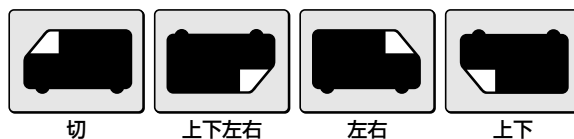
表示映像を電子的に反転させることができます。カメラを逆さに取り付けたりミラー越しに撮影する場合など、カメラの設置環境に応じて設定してください。



1 ↓で[画像反転]を選び、↔で反転モードを選択する

選択項目：

- 切 (通常映像)
- 上下左右
- 左右
- 上下

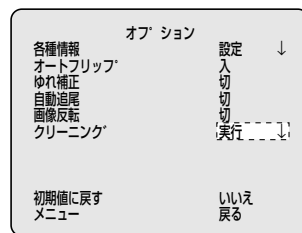


メモ “上下左右”はカメラの床置きに対応し、パン／チルトの動作方向はレバーの操作方向と一致します。

※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

F クリーニング機能を使う

カメラの水平回転部をクリーニングする機能です。



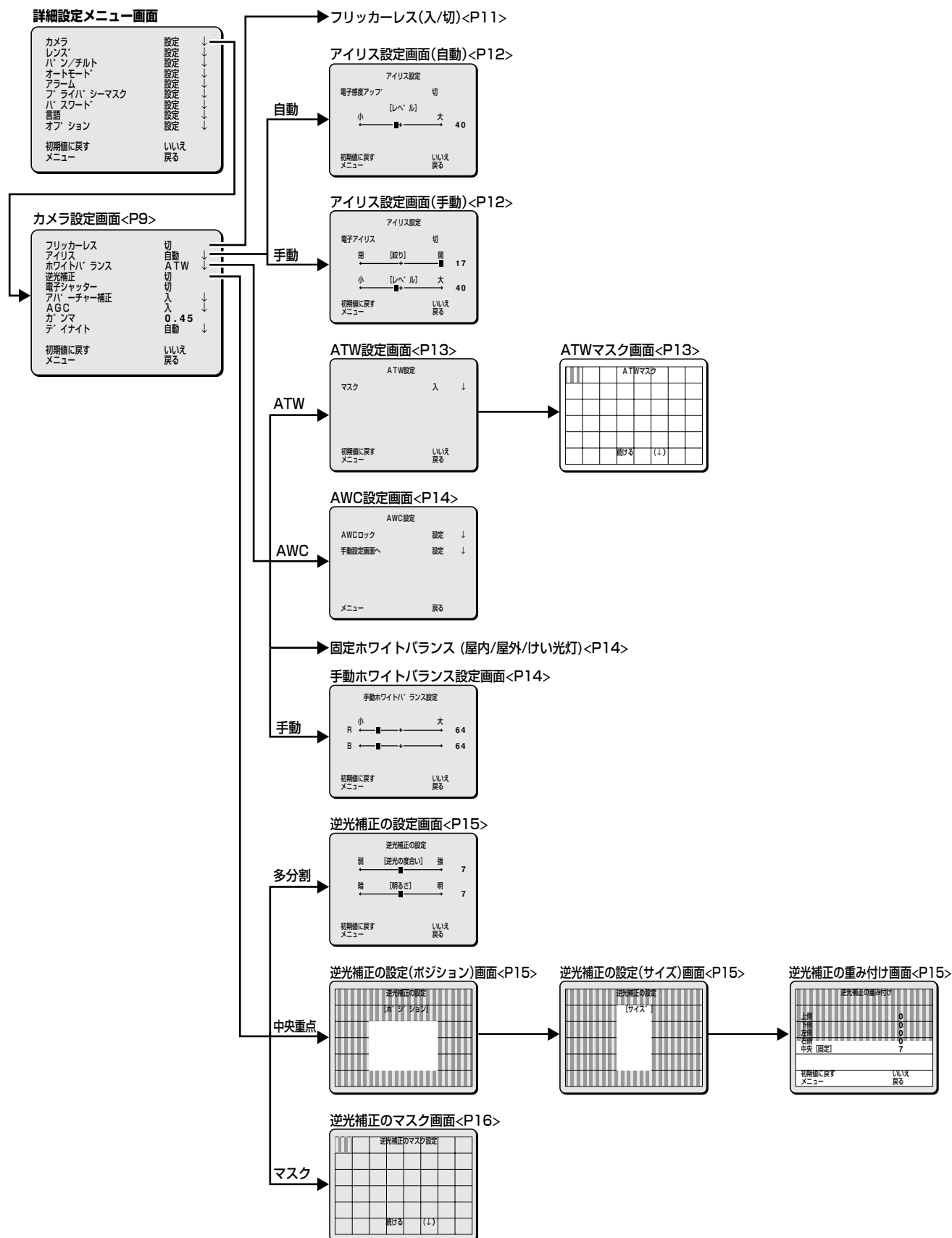
1 ↓で[クリーニング](実行↓)を選び、[ENTER] ボタンを押す

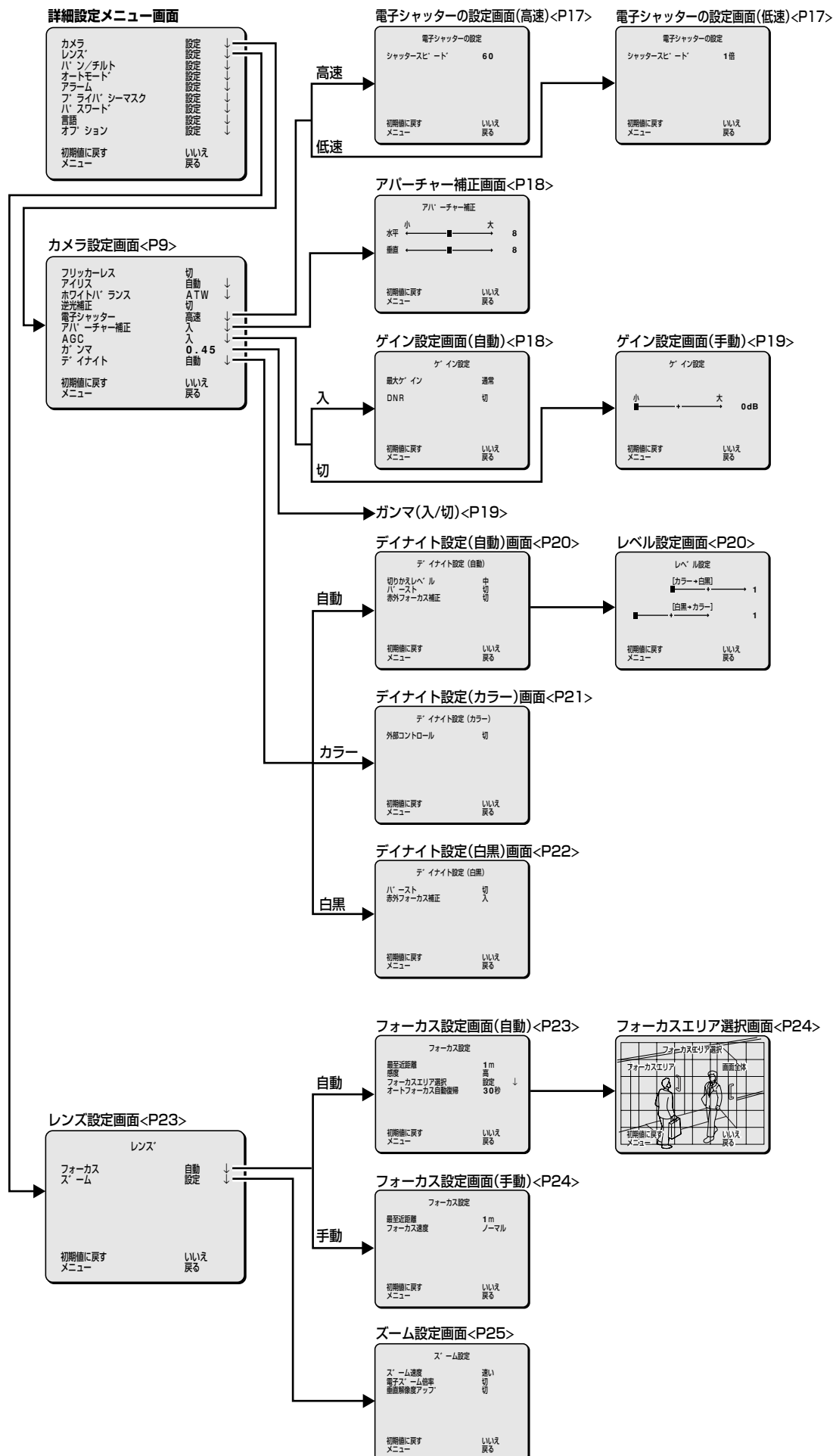
クリーニングを開始し、終了したら初期動作をおこないます。

メモ カメラの水平回転部は常に動作しています。回転部の接点汚れてくるとカメラの動作が不安定になり、映像が乱れたり、登録ポジションがずれたりします。この機能を使って、定期的にクリーニングをするようお勧めします。

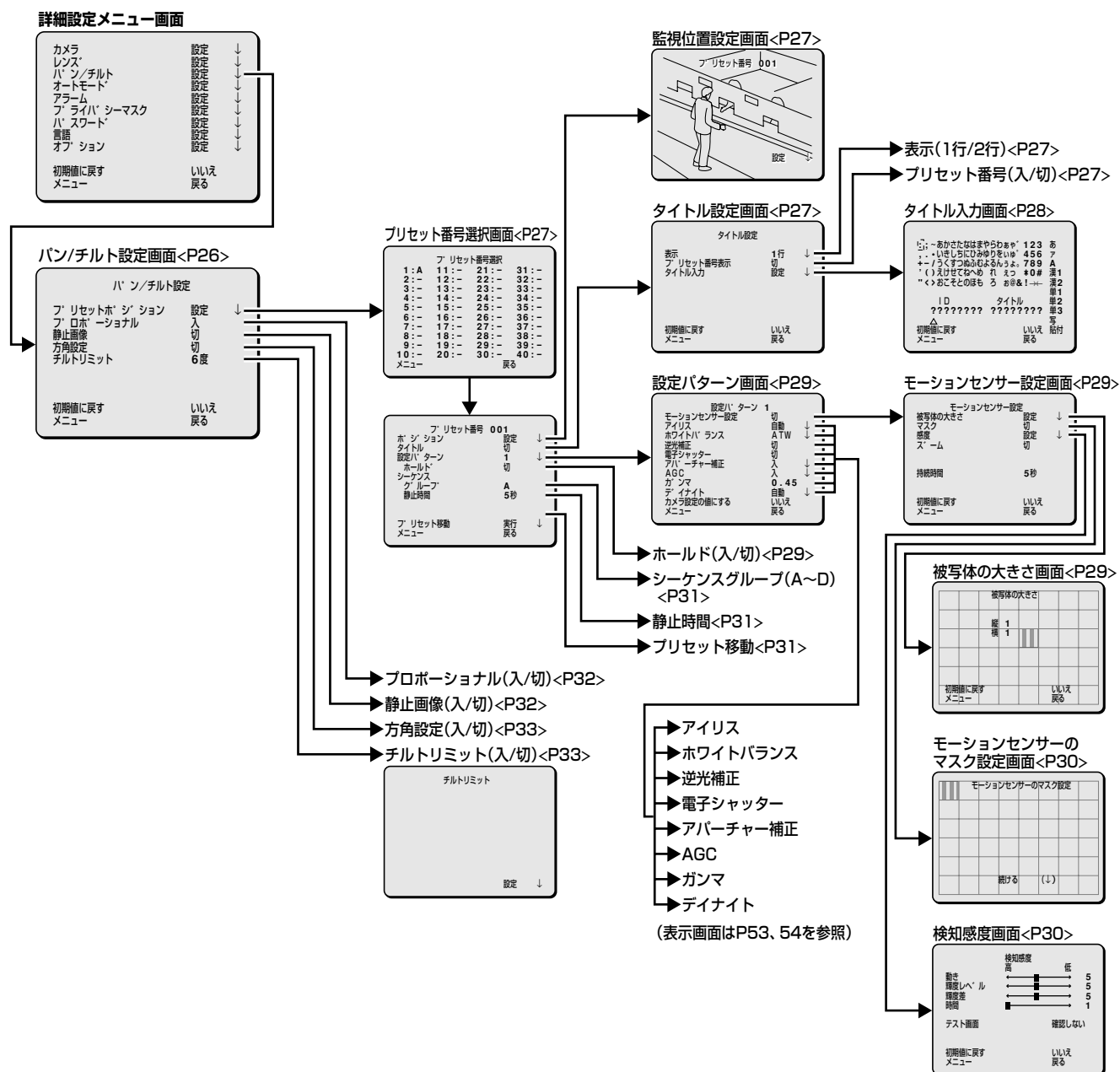
※設定が終わったら、[メニュー]で“戻る”または“終了”を選択してください。

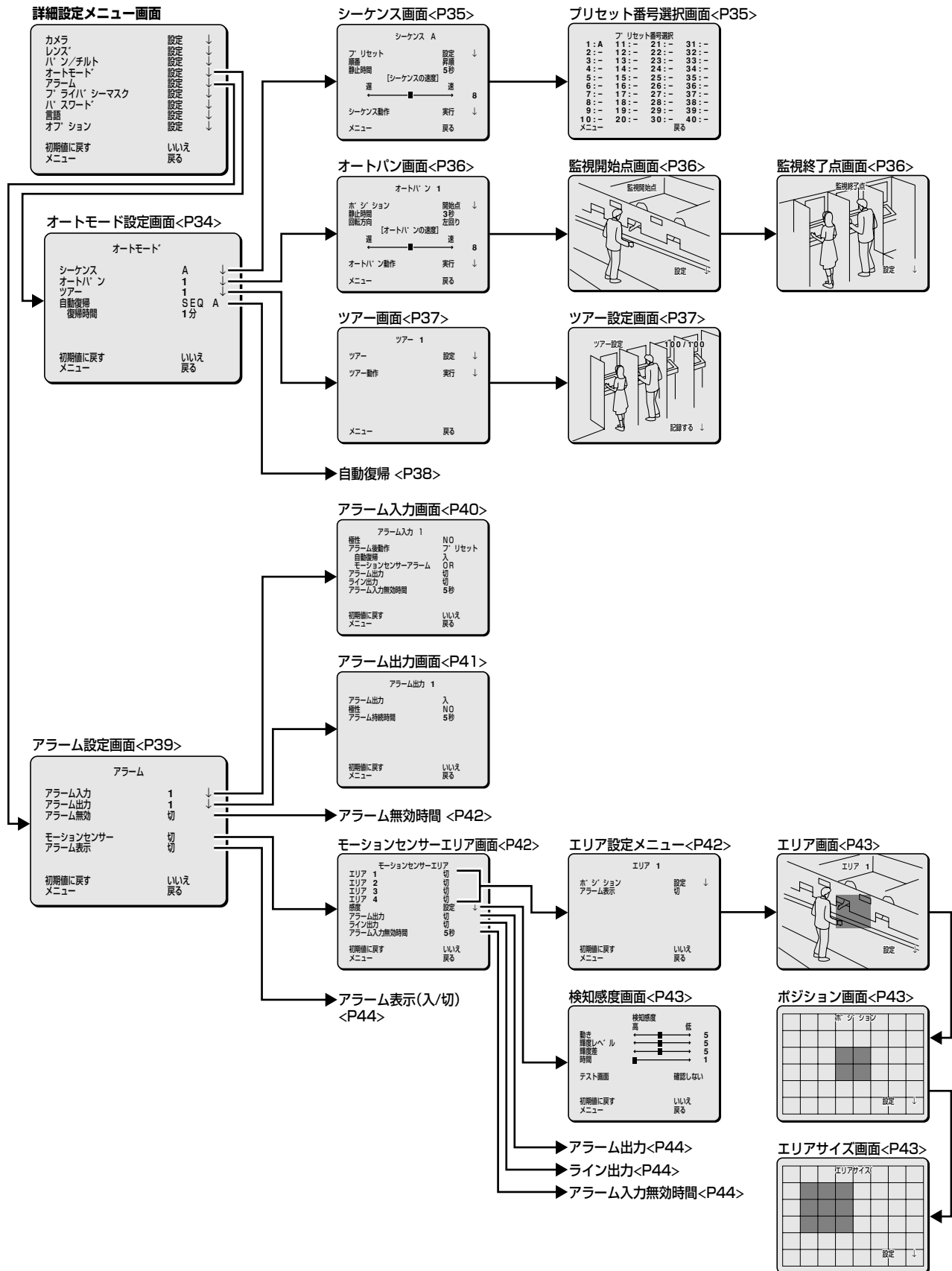
メニュー画面の展開図



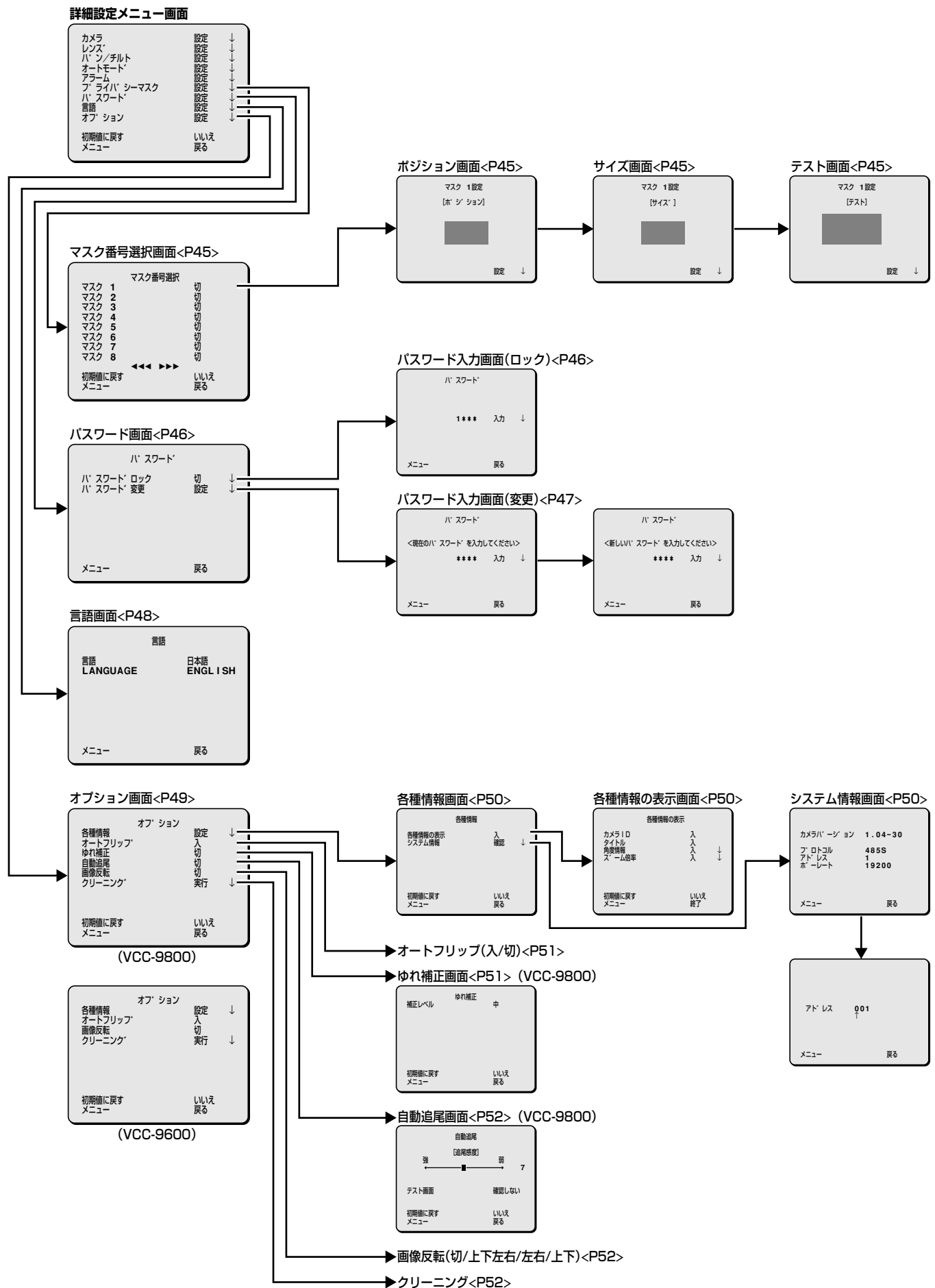


メニュー画面の展開図（つづき）





メニュー画面の展開図 (つづき)



テレビジョン方式	NTSCカラーテレビジョン方式準拠
撮像素子	インターライントランスファー方式、1/4型CCD
有効画素数	768 (H) × 494 (V) 30フレーム/秒、2 : 1 インターレス
水平解像度	520TV本以上 (中心部)
レンズ (VCC-9800)	36倍ズームレンズ、f=3.4~122.4mm (F1.6~4.5) 電子ズームと連動、ズーム速度設定可能
レンズ (VCC-9600)	30倍ズームレンズ、f=3.5~105mm (F1.4~3.7) 電子ズームと連動、ズーム速度設定可能
電子ズーム	16倍 (VCC-9800 : 光学ズームとの組み合わせで最大576倍、VCC-9600 : 最大480倍) 垂直解像感アップ : 入/切設定
フォーカス	自動/手動/ワンプッシュ オートフォーカスエリア設定可能 (3段階)
アイリス制御	自動/手動
フリッカーレス	入/切
最低被写体照度 (VCC-9800)	● 1.0ルクス (F1.6、AGCゲイン最大時、カラーモード) ● 0.05ルクス (F1.6、AGCゲイン最大時、白黒モード) ● 0.032ルクス (F1.6、AGCゲイン最大時、32倍電子感度アップ時、カラーモード) ● 0.002ルクス (F1.6、AGCゲイン最大時、32倍電子感度アップ時、白黒モード)
最低被写体照度 (VCC-9600)	● 0.8ルクス (F1.4、AGCゲイン最大時、カラーモード) ● 0.04ルクス (F1.4、AGCゲイン最大時、白黒モード) ● 0.025ルクス (F1.4、AGCゲイン最大時、32倍電子感度アップ時、カラーモード) ● 0.00125ルクス (F1.4、AGCゲイン最大時、32倍電子感度アップ時、白黒モード)
S/N比	50dB以上 (AGC “切” の場合)
逆光補正	中央重点測光 / 多分割評価測光 / マルチスポット測光 (マスク)
デイナイト	カラーと白黒映像を自動切換 / 常時カラー映像 / 常時白黒映像
電子シャッター	● 高速モード : 1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000 ● 長時間露光モード : 1倍、2倍、4倍、8倍、16倍、32倍
電子感度アップ	自動/切、オートアイリスと連動、32倍まで設定可能
ホワイトバランス	オートホワイトバランス (ATW) / ワンプッシュホワイトバランス (AWC) / 固定ホワイトバランス (屋内/屋外/けい光灯) / 手動ホワイトバランス
AGCゲイン	通常/中/高/低/切、“切” のときにゲイン調整可能
モーションセンサー	入/切、各種設定可能
アパーチャー	水平/垂直設定可能
プライバシーマスキング	入/切、最大24カ所設定可能 (ワイド一杯の1画面中では最大4カ所設定可能) 全方向設定可能
アラーム入出力	● 外部アラーム入力 : 8系統、出力 : 2系統、NO/NC切換 ● モーションセンサーと外部アラーム入力のAND/OR出力機能
カメラタイトル	入/切、文字設定数 : 8 (ひらがな、カタカナ、漢字、英、数、記号対応)
設定パターン	8設定
オートモード	シーケンス / オートパン / ツアー / 自動復帰
回転範囲	水平 : 360度エンドレス 垂直 : -5~185度
回転速度	水平 : プリセット435度/秒、マニュアル0.1~120度/秒 垂直 : プリセット400度/秒、マニュアル0.1~120度/秒
プリセットポジション	VCC-9800 : 256ポジション可能、VCC-9600 : 128ポジション可能
通信方式	同軸重畳制御、RS-485制御
動作温度/湿度	-10~50℃/90%RH以下
電源	DC24V

外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。

保証書は販売店（または工事店）でお渡しいたします。

所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店（または工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機（カラーCCDカメラ）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店（または工事店）にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ② 品名と品番
（カラーCCDカメラVCC-9800）
（カラーCCDカメラVCC-9600）
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。

詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■補修用性能部品について

当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、8年保有しています。

なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

修理相談窓口

三洋コンシューママーケティング株式会社

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください。修理相談窓口の名称・電話番号は変更することがあります。

受付時間：月曜日～金曜日 9：00～18：30
土曜・日曜・祝日 9：00～17：30

◆ 東コールセンター

関東・甲信越地区	東 京	☎ 050-3116-2222
	福 島	☎ 東京(03)5302-3401
	新 潟	
	長 野	
北海道地区	札 幌	☎ 050-3116-2333
東北地区	宮 城	☎ 050-3116-2444

◆ 西コールセンター

近畿・北陸・四国地区	大 阪	☎ 050-3116-2555
	金 沢	☎ 大阪(06)4250-8400
	高 松	
中部地区	名古屋	☎ 050-3116-2666
中国地区	広 島	☎ 050-3116-2777
九州地区	福 岡	☎ 050-3116-2888

沖縄地区	沖 縄	☎ 098-9444-5018
------	-----	-----------------

・受付時間 月曜日～土曜日 9:00～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日を除く)

修理相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

修理相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>

- 修理相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。

なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ <http://www.sanyo.co.jp> をご覧ください。

お客さまメモ

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせなどのときに便利です。

お買い上げ年月日	年	月	日
お 買 い 上 げ 店 名			
電 話 番 号	()	—	

三洋電機株式会社

国内マーケティング本部

マーケティング統括部 システム商品企画部

〒110-8534 東京都台東区上野1丁目1番10号

☎ 東京 (03) 6364-3463

パーソナルモバイルグループ

DIカンパニー DCS事業推進部 DS商品部

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号

☎ 大東 (072) 870-6277

この説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。